

橋01	番号	設計 の 理由	上三川町橋梁長寿命化修繕計画に基づき橋梁の補修工 事を実施する	工期	令和8年 3月25日限り	施行 方法	一般競争
7	補						

実 施 設 計 書

橋 梁 補 修 工 事

中落合橋

上三川町大字川中子地内

延長 L = 56.6m 幅員 W = 5.05m

高さ H =

設 計 概 要

断 面 修 復 工	ポリマーセメントモルタル	1式
塗 装 塗 替 工	1種ケレン(循環式ブラスト工法)、錆転換型塗装	724m ²
支 承 塗 替 塗 装 工	特殊エポキシセラミック塗装	1.9m ²
防 護 柵 補 修 工	部分補修・FRPシート貼付工	1式
足 場 工	吊足場、朝顔防護足場、有害物質飛散防止防護	1式
環 境 対 策 資 材 費		1式

課 長

補 佐

係 長

検 算 者

設 計 者

設 計 用 紙 (甲)

上 三 川 町

請 負 工 事 費 金
内 訳

工 事 価 格

消 費 税 相 当 額

予 算 額		増減額	予算額に対する 増 減 額	理 由	
実 施 前	設 計 額				
	請 負 額				
今 回 変 更	設 計 額	前設計額 請負額 に 対 す る	増 減 額		
	請 負 額				

総括情報表

事務所 設計書名 変更回数	13 上三川町 実施設計書 当初 07-00033311111-40 0		
適用単価区分 適用単価地区 適用単価世代	1 実施単価 11 宇都宮土木事務所管内 0-070610(0)		
諸経費体系 ファイル名	1 一般公共 R07中落合橋_070610.ES5		
	当 世 代		前 世 代
前払率 工種 現場環境改善費 市街地補正区分 交通規制区分 ゼロ債務工事に係る補正 週休二日補正区分 契約保証方法 消費税等の率	40 08 鋼橋架設工事 00 計上しない 12 市街地以外 02 一般交通影響あり(2) 01 補正なし 01 補正なし 01 金銭的保証 06 10%適用		

* 本工事費 *

内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
本 工 事									X1000	
橋梁保全工事									Y17ZZ	
橋梁付属物工									Y1775	
排水施設工									Y1775202	
排水管									Y1775202472	
排水管撤去工 鋼管 100A									V0040	0
排水管設置工 加工管 SUS製 φ152 支持金具取付含む	12.5				m				施工	第0-0011号内訳表
橋梁用防護柵工	8				箇所				G0350	科目 第0001号内訳表
防護柵補修工									Y1775204	
									Y1775204475	

* 本工事費 *

内訳表

頁0-0003

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
防護柵部分補修工 既設防護柵切断撤去・現場溶接設置	16	箇所			G0360 科目 第0002号内訳表
FRPシート貼付工 紫外線硬化型	0.64	m ²			G0380 科目 第0003号内訳表
橋梁補修工					Y1782
		1 式			
支承取替工					Y17822M7
		1 式			
沓座モルタル打替工					Y17742005S2
		1 式			
沓座モルタル打替工 A1橋台部	2	基			G0340 科目 第0004号内訳表
沓座モルタル打替工 P1橋脚部	4	基			G0340 科目 第0004号内訳表
沓座モルタル打替工 A2橋台部	2	基			G0340 科目 第0004号内訳表
ひび割れ補修工					Y17822M9
		1 式			

* 本工事費 *

内訳表

頁0-0004

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
充てん工法									Y17822M96XQ	
										1 式
ひび割れ補修工（充てん工法） 1 構造物当り補修延べ延長 2 0 m未満 可とう性エポキシ樹脂 橋梁上部	1								SA665	0 施工 第0-0012号内訳表
ひび割れ補修工（充てん工法） 1 構造物当り補修延べ延長 2 0 m未満 ポリマーセメントモルタル 橋梁下部	1								SA665	0 施工 第0-0013号内訳表
低圧注入工法									Y17822M96XR	
										1 式
ひび割れ補修工（低圧注入工法） 1 構造物当り補修延べ延長 9 8. 7 m エポキシ系樹脂(2種) 橋梁上部	1								SA667	0 施工 第0-0014号内訳表
ひび割れ補修工（低圧注入工法） 1 構造物当り補修延べ延長 2 5 m未満 エポキシ系樹脂(1種) 橋梁下部	1								SA667	0 施工 第0-0015号内訳表
断面修復工									Y17822MA	
										1 式
左官工法									Y17822MA6XS	
										1 式
断面修復工（左官工法） 鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理あり 1 構造物当り修復延べ体積 0. 1 2 7 m ³ 断面修復A	1								SA669	0 施工 第0-0016号内訳表

* 本工事費 *

内訳表

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
断面修復工 (左官工法) 鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理なし 1 構造物当り修復延べ体積0. 2 5 8 m ³ 断面修復B	1	構造物			SA669 0 施工 第0-0017号内訳表
現場塗装工		1 式			Y1778
橋梁塗装工 桁、支承		1 式			Y1778200
素地調整 桁、支承共通		1 式			Y1778200629
橋梁塗装工 清掃・水洗い (塗替)	724	m ²			S4648 0 施工 第0-0018号内訳表
橋梁塗装工 素地調整 (塗替) 1 種ケレン	724	m ²			S4648 0 施工 第0-0019号内訳表
発生材積込・回収	724	m ²			G0300 科目 第0005号内訳表
車載式トラック	1	式			V0110 0 施工 第0-0020号内訳表
下塗 桁等 錆転換防食塗装		1 式			Y17782005GI

* 本工事費 *

内訳表

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
脱脂洗浄工 錆轉換塗装	722	m ²			G0310 科目 第0006号内訳表
下塗り工 錆轉換塗装	722	m ²			G0320 科目 第0007号内訳表
下塗 支承 特殊エポキシセラミック塗装		1 式			Y17782005GI
下塗り工 エポキシ樹脂樹脂系セラミックコーティング	1.9	m ²			G0330 科目 第0008号内訳表
中塗 桁等・支承 錆轉換防食塗装		1 式			Y17782005GL
橋梁塗装工 中塗り (塗替) 弱溶剤形ふっ素樹脂 淡彩 スプレー	724	m ²			S4648 0 施工 第0-0021号内訳表
上塗 桁等・支承 錆轉換防食塗装		1 式			Y17782005GO
橋梁塗装工 上塗り (塗替) 弱溶剤形ふっ素樹脂 淡彩 スプレー	724	m ²			S4648 0 施工 第0-0022号内訳表
構造物撤去工		1 式			Y1780

* 本工事費 *

内訳表

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
運搬処理工		1 式			Y1780214
殻運搬、処分 断面修復、はつり等		1 式			Y1780214A0K
積込 (コンクリート殻)					SZA789 0
全ての費用	0.5	m ³			施工 第0-0023号内訳表
殻運搬 コンクリート(無筋)構造物とりこわし 10.9km以下 全ての費用	0.5	m ³			SZA961 0 施工 第0-0024号内訳表
処分費 コンクリート (無筋)	0.5	m ³			S0020 0 施工 第0-0025号内訳表
発生材処分 ケレンかす(PCB含有) 事業者保管用		1 式			Y1780214A0L
UN規格ドラム缶 特別産業廃棄物保管用	9	缶			F0300 0
スクラップ		1 式			Y0H092HOA0L
諸経費対象外(共× 現× 一×)	1	1 式			#0046

* 本工事費 *

内訳表

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
有価物控除 鉄 その他 Gコード内×、共×現×一×、現環×	0.28	t			S0025 0 施工 第0-0026号内訳表
現場発生品運搬		1 式			Y17802145CZ
現場発生品及び支給品運搬 DID区間なし	0.28	t			SZA082 0 施工 第0-0027号内訳表
現場発生品及び支給品積込み・荷卸し	0.28	t			SZA084 0 施工 第0-0028号内訳表
仮設工		1 式			Y1781
環境対策工		1 式			Y1781200
環境対策		1 式			Y17812005EP
環境対策資機材費	1	式			G0100 0 科目 第0009号内訳表
セキュリティールーム設置撤去	1	式			F0320 0

* 本工事費 *

内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
足場工									Y1781200	
				1	式					
足場工									Y17812005EP	
				1	式					
足場工 (タイプ A 3) 主体足場									F1000	0
	1				式					
足場工 (タイプ E) 片側朝顔 (シート+板張防護)									F1010	0
	1				式					
吊足場養生工 床面部 板張防護・シート養生									V0200	0
	299				m 2				施工	第0-0029号内訳表
吊足場養生工 朝顔側面部 板張防護・シート養生									V0210	0
	87				m 2				施工	第0-0030号内訳表
ブラスト用養生シート									F1020	0
	1				式					
橋梁点検車運転									V0230	0
					日				施工	第0-0031号内訳表
セキュリティールーム仮設仮囲い 板張防護含む									V0220	0
	1				式				施工	第0-0032号内訳表

* 本工事費 *

内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
交通管理工			1 式			Y1781232
交通誘導警備員			1 式			Y1781232Y21
交通誘導警備員の計上 交通誘導警備員 B	1		式			S0914 0 施工 第0-0033号内訳表

* 本工事費 *

内訳表

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
直接工事費					
技術管理費		1 式			Z0006
極小規模鉄筋探査工 下向き 報告書作成費用含む	2.1	m 2			V0300 0 施工 第0-0035号内訳表
極小規模鉄筋探査工 上向き 報告書作成費用含む	2.0	m 2			V0301 0 施工 第0-0036号内訳表
安全費		1 式			Z0009
安全対策用備品費 ケレン、回収・分離時	1	式			G0200 0 科目 第0010号内訳表
共通仮設費 (率分)		1 式			
共通仮設費計					
純工事費					

* 本工事費 *

内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
現場管理費			1 式			
工事原価						
一般管理費等			1 式			
契約保証費			1 式			
一般管理費等計						
工事価格						
工事価格計						
消費税・地方 消費税額			1 式			
請負工事費						

排水管設置工

科目内訳表

頁0-0013

G0350

科目 第0001号内訳表

加工管 SUS製 φ152

支持金具取付含む

8

箇所 当り

施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
排水管設置工(施工費) 加工管 SUS製 φ152 支持金具取付含む	8	箇所			V0041 0 施工 第0-0001号内訳表
排水管 加工管 SUS製 φ152 加工費含む	8	組			F0023 0
支持金具 SS400(溶融亜鉛メッキ)	8	組			F0025 0
小計	8	箇所			
計	1	箇所			

防護柵部分補修工

G0360

科目内訳表

科目 第0002号内訳表

頁0-0014

既設防護柵切断撤去・現場溶接設置

16

箇所 当り

施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
防護柵部分補修工(施工費) 既設防護柵切断撤去・現場溶接設置	16	箇所			V0070 0 施工 第0-0002号内訳表
材料費 □75*45*t32*L1800 加工費、ロス分含む	16	本			F0090 0
小計	16	箇所			
計	1	箇所			

FRPシート貼付工

G0380

科目内訳表

科目 第0003号内訳表

頁0-0015

紫外線硬化型

0.64 m² 当り

施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
FRPシート貼付工（施工費） 紫外線硬化型	0.64	m ²			V0074 0 施工 第0-0003号内訳表
シート（区分A） 440*150*3枚 0.01m ² 以上0.07m ² 未満/枚	0.198	m ²			F0071 0
シート（区分B） 440*200*3枚 0.07m ² 以上0.15m ² 未満/枚	0.264	m ²			F0072 0
シート（区分C） 440*400*1枚 0.15m ² 以上/枚	0.176	m ²			F0073 0
一液湿潤型硬化型ウレタン系プライマー 5kg/缶	1	缶			F0074 0
不陸調整用ガラス繊維入りパテ 硬化剤含む 20kg/缶	1	缶			F0075 0
端部処理材 紫外線硬化型樹脂 250kg/缶	1	缶			F0076 0
小計	0.64	m ²			
計	1	m ²			

科目内訳表

施工名称など	数量	単位	単価	金額	備	考
沓座モルタル打替工 (施工費)	8	基			V0060	0
無収縮モルタル	13	袋			F0081	0
差筋アンカー SD295 D10	32	本			F0083	0
鉄筋工 SD295 構造物種別による補正なし 施工規模 10t未満	0.024	t			SF201	0
小計	8	基				
計	1	基				

科目内訳表

施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
循環式プラスト工法 車載式	1,000	m ²			V1000 0 施工 第0-0006号内訳表
場内収集・選別・運搬 研削材及びケレンかす	1,000	m ²			V1001 0 施工 第0-0007号内訳表
小計	1,000	m ²			
計	1	m ²			

脱脂洗浄工

G0310

科目内訳表

科目 第0006号内訳表

頁0-0018

鍍転換塗装 100 m² 当り

施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
脱脂洗浄工(施工費) 鍍転換型防食塗装	100	m ²			V0010 0 施工 第0-0008号内訳表
脱脂洗浄剤 鍍転換型防食塗装	5.0	kg			F0061 0
小計	100	m ²			
計	1	m ²			

下塗り工

G0320

科目内訳表

科目 第0007号内訳表

頁0-0019

錆転換塗装 100 m² 当り

施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
下塗り工 (施工費) 錆転換型防食塗装	100	m ²			V0011 0 施工 第0-0009号内訳表
下塗り剤 錆転換型防食塗装	15.0	kg			F0063 0
小計	100	m ²			
計	1	m ²			

下塗り工

G0330

科目内訳表

科目 第0008号内訳表

頁0-0020

エポキシ樹脂系セラミックコーティング*

1.9 m2 当り

施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
下塗り工 (施工費) エポキシ樹脂系セラミックコーティング	1.9	m2			V0020 0 施工 第0-0010号内訳表
下塗り塗装剤 ラスタック2110	2	セット			F0065 0
希釈剤 下塗り用 ラスタック7010	1	缶			F0069 0
小計	1.9	m2			
計	1	m2			

科目内訳表

施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
負圧集塵機賃料（基本管理費込） 最大処理風量 160m ³ /min 1台使用	1	月/台			F0310 0
鉛対応集塵機用カートリッジフィルタ、パッキン 1台16本使用	16	本			F0311 0
エアシャワー賃料 1台使用	1	月/台			F0312 0
エアシャワー用1次フィルター 1枚当り0.5ヶ月	2	枚			F0313 0
エアシャワー用HEPAフィルター 1枚当り1000m ² 毎に交換	1	枚			F0314 0
PCB・鉛粉塵対策用真空掃除機賃料 1台使用	1	月/台			F0315 0
真空掃除機用1次フィルター 1枚当り0.5ヶ月	2	枚			F0316 0
真空掃除機用2次フィルター 1枚当り1000m ² 毎に交換	1	枚			F0317 0
真空掃除機用HEPAフィルター 1台1個使用	1	個			F0318 0

科目内訳表

施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
計	1	式			

安全対策用備品費

G0200

科目内訳表

科目 第0010号内訳表

頁0-0023

ケレン、回収・分離時

1

式 考 当り

施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
エコクリンスーツ (上) 3日1着使用/人	56			着					F0330	0
エコクリンスーツ (下) 3日1着使用/人	56			着					F0331	0
送気ユニット 接続器共	12			組					F0332	0
定置式ろ過筒 (4人用) ろ過フィルター含む	3			台					F0333	0
エアラインホース φ9 L=20m 12人分	12			本					F0334	0
エアラインホース φ19 L=25m 定置式ろ過筒3組分	3			本					F0335	0
防じんマスク 12人分	12			個					F0336	0
防じんマスク用フィルター 交換用含む 4日2個組使用/人	88			個					F0337	0
防護手袋 1日2組使用/人	296			組					F0338	0

安全対策用備品費

G0200

科目内訳表

科目 第0010号内訳表

頁0-0024

ケレン、回収・分離時

1

式 当り

施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
防護長靴 12人分	12	足			F0339 0
計	1	式			

施工内訳表

施工 第0-0001号内訳表

排水管設置工（施工費）

加工管 SUS製 φ152

V0041

支持金具取付含む

8

箇所 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役		人			RA125
特殊作業員		人			RA005
普通作業員		人			RA010
諸雑費		%			#01
計	8	箇所			
小計	1	箇所			

施工内訳表

V0070

施工 第0-0002号内訳表

防護柵部分補修工（施工費）

既設防護柵切断撤去・現場溶接設置

16

箇所 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
橋りょう世話役		人			RA120
橋りょう特殊工		人			RA110
溶接工		人			RA065
普通作業員		人			RA010
諸雑費		%			#01
計	16	箇所			
小計	1	箇所			

施工内訳表

FRPシート貼付工（施工費）

V0074

施工 第0-0003号内訳表

0.64 m² 当り

紫外線硬化型

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役 シート貼付		人			RA125
普通作業員 シート貼付		人			RA010
土木一般世話役 紫外線照射		人			RA125
普通作業員 紫外線照射		人			RA010
機械損料 紫外線照射機	4.0	台/日			F0096
諸雑費		%			#01 パテへら、押しつけローラー、発電機等
計	0.64	m ²			
小計	1	m ²			

沓座モルタル打替工（施工費）

V0060

施工内訳表

施工 第0-0004号内訳表

8 基 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役		人			RA125
特殊作業員		人			RA005
普通作業員		人			RA010
諸雑費		%			#01 電動工具、発電機、型枠材等
計	8	基			
小計	1	基			

循環式ブラスト工法 車載式

V1000

施工内訳表

施工 第0-0006号内訳表

1000

m²

当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
橋りょう世話役		人			RA120
橋りょう特殊工		人			RA110
橋りょう塗装工		人			RA115
循環式ブラストマシン賃料 2ノズルタイプ	14.7	台/日			F0100
ダストコレクター賃料 真空回収装置	14.7	台/日			F0110
ブラストノズル・ブラストホース賃料	14.7	台/日			F0120
循環式ブラストマシン整備料 鉛特別整備費	14.7	台/日			F0130
空気圧縮機損料 可搬式・スクェアエンジン 19.4m ³ /min (第2次排ガス)	14.7	台/日			F0132
発動発電機損料 ディーゼルエンジン駆動・定格容量100/125kVA (第2次排ガス)	14.7	台/日			F0134
研削材損料 スチールグリッド	1,500	kg			F0140
軽油	4,112	L			TSX24
諸雑費		%			#01 上記合計*2%

施工内訳表

V1001

施工 第0-0007号内訳表

1000 m2 当り

場内収集・選別・運搬
研削材及びケレンかす

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
橋りょう塗装工		人			RA115
トラック 4t車 クレーン装置付き・2.9t吊		供用日			F0150
諸雑費		%			#01 上記合計*40%
計	1,000	m2			
小計	1	m2			

施工内訳表

V0010

施工 第0-0008号内訳表

100 m² 当り

脱脂洗浄工（施工費）

鍍轉換型防食塗装

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
橋りょう世話役		人			RA120
橋りょう塗装工		人			RA115
諸雑費		%			#01 消耗雑材等
計	100	m ²			
小計	1	m ²			

施工内訳表

V0011

施工 第0-0009号内訳表

100 m² 当り

下塗り工 (施工費)

錆転換型防食塗装

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
橋りょう世話役		人			RA120
橋りょう塗装工		人			RA115
諸雑費		%			#01 消耗雑材等
計	100	m ²			
小計	1	m ²			

施工内訳表

V0020

施工 第0-0010号内訳表

下塗り工 (施工費)

エポキシ樹脂系セラミックコーティング

1.9 m² 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
橋りょう世話役		人			RA120
橋りょう塗装工		人			RA115
諸雑費		%			#01 消耗雑材等
計	1.9	m ²			
小計	1	m ²			

施工内訳表

V0040

施工 第0-0011号内訳表

10 m 当り

排水管撤去工
鋼管 100A

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役		人			RA125
特殊作業員		人			RA005
普通作業員		人			RA010
トラッククレーン [油圧伸縮ジブ型] 賃料		日			KQ305
諸雑費		%			#01
計	10	m			
小計	1	m			

施工内訳表

ひび割れ補修工（充てん工法）

SA665

施工 第0-0012号内訳表

1 構造物当り補修延べ延長20m未満

可とう性エポキシ樹脂

橋梁上部

1

構造物 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役		人			RA125
特殊作業員		人			RA005
普通作業員		人			RA010
充填材	2.880	kg			TK008
諸雑費		%			#09
小計	1	構造物			

施工内訳表

ひび割れ補修工（充てん工法）

SA665

施工 第0-0013号内訳表

1 構造物当り補修延べ延長20m未満

ポリマーセメントモルタル

橋梁下部

1

構造物 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役		人			RA125
特殊作業員		人			RA005
普通作業員		人			RA010
充填材	0.240	kg			TK008
諸雑費		%			#09
小計	1	構造物			

施工内訳表

ひび割れ補修工（低圧注入工法）

SA667

施工 第0-0014号内訳表

1 構造物当り補修延べ延長98.7m

エポキシ系樹脂(2種)

橋梁上部

1

構造物 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役		人			RA125
特殊作業員		人			RA005
普通作業員		人			RA010
注入材	16.300	kg			TKB05
シール材	20.687	kg			TKN03
低圧注入器具	330.000	個			TJ450
諸雑費		%			#09
小計	1	構造物			

施工内訳表

ひび割れ補修工（低圧注入工法）

SA667

施工 第0-0015号内訳表

1 構造物当り補修延べ延長2.5m未満

エポキシ系樹脂(1種)

橋梁下部

1

構造物 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役		人			RA125
特殊作業員		人			RA005
普通作業員		人			RA010
注入材	0.690	kg			TKB05
シール材	0.877	kg			TKN03
低圧注入器具	14.000	個			TJ450
諸雑費		%			#09
小計	1	構造物			

施工内訳表

断面修復工（左官工法）

SA669

施工 第0-0016号内訳表

鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理あり

1 構造物当り修復延べ体積0.127m³

断面修復A

1

構造物 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役		人			RA125
特殊作業員		人			RA005
普通作業員		人			RA010
断面修復材	0.150	m ³			TJ460
諸雑費		%			#09
小計	1	構造物			

施工内訳表

断面修復工（左官工法）

SA669

施工 第0-0017号内訳表

鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理なし

1 構造物当り修復延べ体積0.258m³

断面修復B

1

構造物 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役		人			RA125
特殊作業員		人			RA005
普通作業員		人			RA010
断面修復材	0.304	m ³			TJ460
諸雑費		%			#09
小計	1	構造物			

施工内訳表

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
橋梁塗装工 塗替塗装 清掃水洗い 昼間 制約：無	100.000	m ²			T3H19
計	100	m ²			
小計	1	m ²			

施工内訳表

施工 第0-0020号内訳表

1 式 当り

車載式トラック

V0110

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
トラック 4.0t車 車載式	26.0	台/日			F0055
諸雑費率		%			#01
小計	1	式			

施工内訳表

橋梁塗装工 中塗り (塗替)

S4648

施工 第0-0021号内訳表

弱溶剤形ふっ素樹脂 淡彩 スプレー

100

m² 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
橋梁塗装工 塗替塗装 中塗り 弱溶剤形ふっ素 淡彩 170×1層 昼間 制約：無	100.000	m ²			T3H85
計	100	m ²			
小計	1	m ²			

施工内訳表

橋梁塗装工 上塗り (塗替)

S4648

施工 第0-0022号内訳表

弱溶剤形ふっ素樹脂 淡彩 スプレー

100

m²

当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
橋梁塗装工 塗替塗装 上塗 弱溶剤形ふっ素 淡彩 140×1層 昼間 制約：無	100.000	m ²			T3I12
計	100	m ²			
小計	1	m ²			

積込 (コンクリート殻)

SZA789

施工内訳表

施工 第0-0023号内訳表

頁0-0048

全ての費用

1

m 3

当り

機械構成比:

労務構成比:

材料構成比:

市場単価構成比:

標準単価:

代表機材規格	構成比	単価	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ (クローラ型) [標準型] 排ガス2014			バックホウ (クローラ型) [標準型] 排ガス2014		MA19S
普通作業員			普通作業員		RA010
運転手 (特殊)			運転手 (特殊)		RA070
軽油			軽油 パトロール給油		TSX24
積算単価			積算単価		EP001
小計					

施工内訳表

殻運搬

SZA961

施工 第0-0024号内訳表

コンクリート(無筋)構造物とりこわし

10.9km以下

全ての費用

1

m3 当り

機械構成比:

労務構成比:

材料構成比:

市場単価構成比:

標準単価:

代表機労材規格	構成比	単価	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]			ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]		MA405
運転手 (一般)			運転手 (一般)		RA075
軽油			軽油 パトロール給油		TSX24
積算単価			積算単価		EP001
小計					

施工内訳表

施工 第0-0025号内訳表

S0020

処分費

コンクリート(無筋)

100

m³

当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
コンクリート廃材処理費 無筋構造物廃材	100.000	m ³			T2602
計	100	m ³			
小計	1	m ³			

施工内訳表

S0025

施工 第0-0026号内訳表

有価物控除
鉄

その他

Gコード内×、共×現×一×、現環×

1 t

当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
有価物	1.000	t			
					+00
小計	1	t			

現場発生品及び支給品運搬

SZA082

施工内訳表

施工 第0-0027号内訳表

頁0-0052

DID区間なし

1

t

当り

機械構成比：

労務構成比：

材料構成比：

市場単価構成比：

標準単価：

代表機材規格	構成比	単価	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
トラック [クレーン装置付]			トラック [クレーン装置付]		MA444
運転手 (特殊)			運転手 (特殊)		RA070
特殊作業員			特殊作業員		RA005
軽油			軽油 パトロール給油		TSX24
積算単価			積算単価		EP001
小計					

施工内訳表

機械構成比：

労務構成比：

材料構成比：

市場単価構成比：

標準単価：

代表機材規格	構成比	単価	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
トラック [クレーン装置付]			トラック [クレーン装置付]		MA444
運転手 (特殊)			運転手 (特殊)		RA070
特殊作業員			特殊作業員		RA005
その他(労務)			その他(労務)		ER009
軽油			軽油 パトロール給油		TSX24
積算単価			積算単価		EP001

施工内訳表

頁0-0054

当り

機械構成比：

労務構成比：

材料構成比：

市場単価構成比：

標準単価：

代表機労材規格	構成比	単価	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
小計					

施工内訳表

吊足場養生工
 床面部

V0200
 板張防護・シート養生

施工 第0-0029号内訳表

298.6 m2 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
橋りょう特殊工 設置・撤去		人			RA110
足場損料 コンパネ、杉板、垂木、副資材含む 損料4ヶ月	298.6	m2			F0200
計	298.6	m2			
小計	1	m2			

施工内訳表

吊足場養生工
 朝顔側面部

V0210
 板張防護・シート養生

施工 第0-0030号内訳表

87.1 m2 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
橋りょう特殊工 設置・撤去		人			RA110
足場損料 コンパネ、杉板、垂木、副資材含む 損料4ヶ月	87.1	m2			F0210
計	87.1	m2			
小計	1	m2			

施工内訳表

橋梁点検車運転

V0230

施工 第0-0031号内訳表

1 日 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
運転手（特殊）		人			RA070
橋梁点検車賃料 作業高約6.0m 積載質量200kg		日			F0031
軽油	50.4	L			TSX24
小計	1	日			

施工内訳表

セキュリティールーム仮設仮囲い
 板張防護含む

V0220

施工 第0-0032号内訳表

1 式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
橋りょう特殊工 設置・撤去		人			RA110
足場損料(単管) コンパネ、仮設扉施錠付	1	式			F1030
小計	1	式			

施工内訳表

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
交通誘導警備員B		人			RA227
小計	1	人・日			

施工内訳表

極小規模鉄筋探査工
 下向き

V0300
 報告書作成費用含む

施工 第0-0035号内訳表

2.1 m2 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
技師（A）		人			RA625
技師（B）		人			RA630
技師（C）		人			RA635
諸雑费率		%			#01
計	2.1	m2			
小計	1	m2			

施工内訳表

極小規模鉄筋探査工
 上向き

V0301
 報告書作成費用含む

施工 第0-0036号内訳表

2 m2 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
技師（A）		人			RA625
技師（B）		人			RA630
技師（C）		人			RA635
諸雑費率		%			#01
計	2	m2			
小計	1	m2			

入力データ一覧表

頁0-0063

コード	名称・規格など	数量／ 単 位	単 価 金 額	条 件 名 条 件 名	値 称
G0100	環境対策資機材費	1 式			
F0310	負圧集塵機賃料（基本管理費込） 最大処理風量 160m3/min	1 月/台			
F0311	鉛対応集塵機用カートリッジフィルタ、パッキン 1台16本使用	16 本			
F0312	エアシャワー賃料 1台使用	1 月/台			
F0313	エアシャワー用1次フィルター 1枚当り0.5ヶ月	2 枚			
F0314	エアシャワー用HEPAフィルター 1枚当り1000m2毎に交換	1 枚			
F0315	PCB・鉛粉塵対策用真空掃除機賃料 1台使用	1 月/台			
F0316	真空掃除機用1次フィルター 1枚当り0.5ヶ月	2 枚			
F0317	真空掃除機用2次フィルター 1枚当り1000m2毎に交換	1 枚			
F0318	真空掃除機用HEPAフィルター 1台1個使用	1 個			
G0200	安全対策用備品費 ケレン、回収・分離時	1 式			
F0330	エコクリーンスーツ（上） 3日1着使用/人	56 着			
F0331	エコクリーンスーツ（下） 3日1着使用/人	56 着			
F0332	送気ユニット 接続器共	12 組			
F0333	定置式ろ過筒（4人用） ろ過フィルター含む	3 台			
F0334	エアラインホース φ9 L=20m 12人分	12 本			
F0335	エアラインホース φ19 L=25m 定置式ろ過筒3組分	3 本			
F0336	防じんマスク 12人分	12 個			

入力データ一覧表

コード	名称・規格など	数量／ 単位	単価 金額	条 件 名 称	価 称
F0337	防じんマスク用フィルター 交換用含む	88 個			
F0338	防護手袋 1日2組使用/人	296 組			
F0339	防護長靴 12人分	12 足			
G0300	発生材積込・回収	1,000 m ²			
V1000	循環式ブラスト工法 車載式	1,000 m ²			
V1001	場内収集・選別・運搬 研削材及びケレンかす	1,000 m ²			
G0310	脱脂洗浄工 錆転換塗装	100 m ²			
V0010	脱脂洗浄工（施工費） 錆転換型防食塗装	100 m ²			
F0061	脱脂洗浄剤 錆転換型防食塗装	5.0 kg			
G0320	下塗り工 錆転換塗装	100 m ²			
V0011	下塗り工（施工費） 錆転換型防食塗装	100 m ²			
F0063	下塗り剤 錆転換型防食塗装	15.0 kg			
G0330	下塗り工 エポキシ樹脂樹脂系セラミックコーティング	1.9 m ²			
V0020	下塗り工（施工費） エポキシ樹脂系セラミックコーティング	1.9 m ²			
F0065	下塗り塗装剤 ラストップ2110	2 セット			
F0069	希釈剤 下塗り用	1 缶			
G0340	沓座モルタル打替工	8 基			
V0060	沓座モルタル打替工（施工費）	8 基			

入力データ一覧表

頁0-0065

コード	名称・規格など	数量／ 単 位	単 価 金 額	条 件 名 称 条 件 名 称
F0081	無収縮モルタル	13 袋		
F0083	差筋アンカー SD295 D10	32 本		
SF201	鉄筋工 SD295	0.024 t		A=1, B=1, C=1, D=1, E=1, F=2, G=3, H=1, I=1 A=SD295, B=D10 (5 t 以下), C=一般構造物, D=標準作業, E =構造物種別による補正なし, F=施工規模 10 t 未満, G=《条件不 要》, H=夜間作業 (20時～6時) なし, I=太径鉄筋の割合 10% 未満
G0350	排水管設置工 加工管 SUS製 φ152	8 箇所		
V0041	排水管設置工 (施工費) 加工管 SUS製 φ152	8 箇所		
F0023	排水管 加工管 SUS製 φ152	8 組		
F0025	支持金具 SS400(溶融亜鉛メッキ)	8 組		
G0360	防護柵部分補修工 既設防護柵切断撤去・現場溶接設置	16 箇所		
V0070	防護柵部分補修工 (施工費) 既設防護柵切断撤去・現場溶接設置	16 箇所		
F0090	材料費 □75*45*t32*L1800	16 本		
G0370	防護柵嵩上げ工	108.7 m		
V0072	防護柵嵩上げ工 (施工費)	108.7 m		
F0092	嵩上げ高欄材料費	108.7 m		
F0094	端部処理	8 箇所		
G0380	FRPシート貼付工 紫外線硬化型	0.64 m ²		
V0074	FRPシート貼付工 (施工費) 紫外線硬化型	0.64 m ²		

入力データ一覧表

頁0-0067

コード	名称・規格など	数量／ 単位	単価 金額	条 件 名 称	価 値 称
X1000	**本 工 事**				
Y17ZZ	橋梁保全工事	1 式			
Y1775	橋梁付属物工	1 式			
Y1775202	排水施設工	1 式			
Y1775202472	排水管	1 式			
V0040	排水管撤去工 鋼管 100A	12.5 m			
G0350	排水管設置工 加工管 SUS製 φ152	8 箇所			
Y1775204	橋梁用防護柵工	1 式			
Y1775204475	防護柵補修工	1 式			
G0360	防護柵部分補修工 既設防護柵切断撤去・現場溶接設置	16 箇所			
G0380	FRPシート貼付工 紫外線硬化型	0.64 m ²			
Y1782	橋梁補修工	1 式			
Y17822M7	支承取替工	1 式			
Y17742005S2	沓座モルタル打替工	1 式			
G0340	沓座モルタル打替工 A1橋台部	2 基			
G0340	沓座モルタル打替工 P1橋脚部	4 基			
G0340	沓座モルタル打替工 A2橋台部	2 基			
Y17822M9	ひび割れ補修工	1 式			

入力データ一覧表

頁0-0068

コード	名称・規格など	数量／ 単位	単価 金額	条 件 名 称 価 称
Y17822M96XQ	充てん工法	1 式		
SA665	ひび割れ補修工（充てん工法） 1 構造物当り補修延べ延長 2 0 m未満	1 構造物		A=1, C=2. 4 A= 1 構造物当り補修延べ延長 2 0 m未満, C= 1 構造物当り充てん材 設計量（k g）
SA665	ひび割れ補修工（充てん工法） 1 構造物当り補修延べ延長 2 0 m未満	1 構造物		A=1, C=0. 2 A= 1 構造物当り補修延べ延長 2 0 m未満, C= 1 構造物当り充てん材 設計量（k g）
Y17822M96XR	低圧注入工法	1 式		
SA667	ひび割れ補修工（低圧注入工法） 1 構造物当り補修延べ延長 9 8. 7 m	1 構造物		A=2, B=98. 7, C=16. 3, D=15. 1, E=330 A= 1 構造物当り補修延べ延長 2 5 m以上, B= 1 構造物当り補修延べ 延長 L（m）, C= 1 構造物当りの注入材使用量（k g）, D= 1 構造 物当りのシール材設計量（k g）, E= 1 構造物当りの低圧注入器具 使用量（個）
SA667	ひび割れ補修工（低圧注入工法） 1 構造物当り補修延べ延長 2 5 m未満	1 構造物		A=1, C=0. 69, D=0. 64, E=14 A= 1 構造物当り補修延べ延長 2 5 m未満, C= 1 構造物当りの注入材 使用量（k g）, D= 1 構造物当りのシール材設計量（k g）, E= 1 構 造物当りの低圧注入器具使用量（個）
Y17822MA	断面修復工	1 式		
Y17822MA6XS	左官工法	1 式		
SA669	断面修復工（左官工法） 鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理あり	1 構造物		A=1, B=2, C=0. 127 A=鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理あり, B= 1 構造物当り修復延べ体積 0 . 1 m ³ 以上, C= 1 構造物当り修復延べ体積 V（m ³ ）
SA669	断面修復工（左官工法） 鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理なし	1 構造物		A=2, B=2, C=0. 258 A=鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理なし, B= 1 構造物当り修復延べ体積 0 . 1 m ³ 以上, C= 1 構造物当り修復延べ体積 V（m ³ ）
Y1778	現場塗装工	1 式		

入力データ一覧表

頁0-0069

コード	名称・規格など	数量／ 単位	単価 金額	条件 名称	値 称
Y1778200	橋梁塗装工 桁、支承	1 式			
Y1778200629	素地調整 桁、支承共通	1 式			
S4648	橋梁塗装工 清掃・水洗い（塗替）	724 m 2		A=1, F=1, G=1, H=1 A=清掃・水洗い, F= 構造区分による補正なし, G=無し, H=夜間作業 （20時～6時）なし	
S4648	橋梁塗装工 素地調整（塗替） 1種ケレン	724 m 2		A=2, B=1, F=1, G=1, H=1 A=素地調整, B=1種ケレン, F= 構造区分による補正なし, G=無し, H =夜間作業（20時～6時）なし	
G0300	発生材積込・回収	724 m 2			
V0110	車載式トラック	1 式			
Y17782005GI	下塗 桁等	1 式			
G0310	脱脂洗浄工 錆転換塗装	722 m 2			
G0320	下塗り工 錆転換塗装	722 m 2			
Y17782005GI	下塗 支承	1 式			
G0330	下塗り工 エポキシ樹脂樹脂系セラミックコーティング	1.9 m 2			
Y17782005GL	中塗 桁等・支承	1 式			
S4648	橋梁塗装工 中塗り（塗替） 弱溶剤形ふっ素樹脂 淡彩 スプレー	724 m 2		A=5, D=7, F=1, G=1, H=1 A=中塗り, D=弱溶剤形ふっ素樹脂 淡彩 スプレー, F= 構造区分に よる補正なし, G=無し, H=夜間作業（20時～6時）なし	
Y17782005G0	上塗 桁等・支承	1 式			
S4648	橋梁塗装工 上塗り（塗替） 弱溶剤形ふっ素樹脂 淡彩 スプレー	724 m 2		A=6, E=7, F=1, G=1, H=1 A=上塗り, E=弱溶剤形ふっ素樹脂 淡彩 スプレー, F= 構造区分に	

入力データ一覧表

頁0-0070

コード	名称・規格など	数量／ 単位	単 価 額	条 件 名 称 値 称
				よる補正なし,G=無し,H=夜間作業(20時~6時)なし
Y1780	構造物撤去工	1式		
Y1780214	運搬処理工	1式		
Y1780214AOK	殻運搬、処分 断面修復、はつり等	1式		
SZA789	積込(コンクリート殻)	0.5 m ³		
SZA961	殻運搬 コンクリート(無筋)構造物とりこわし	0.5 m ³		A=1, B=1, C=1, E=1, F=1, G=8.6 A=コンクリート(無筋)構造物とりこわし, B=機械積込, C=DID区間なし, E=豪 雪割増 工種条件と同じ, F=全ての費用, G=運搬距離 [km]
S0020	処分費 コンクリート(無筋)	0.5 m ³		A=2 A=コンクリート(無筋)
Y1780214AOL	発生材処分 ケレンかす(PCB含有)	1式		
F0300	UN規格ドラム缶 特別産業廃棄物保管用	9 缶		
YOH092HOAOL	スクラップ	1式		
#0046	諸経費対象外(共×現×一×)	1 1式		A=1, B=1 A=工種金額加算累計, B=特殊金額加算累計
S0025	有価物控除 鉄	0.28 t		A=1, B=6 A=鉄, B=その他(C条件で単価入力)
Y17802145CZ	現場発生品運搬	1式		
SZA082	現場発生品及び支給品運搬	0.28 t		A=1, B=1, C=4, D=1 B=DID区間なし, C=4.0km以下, D=豪雪割増 工種条件と同じ
SZA084	現場発生品及び支給品積込み・荷卸し	0.28 t		A=1, B=1 B=豪雪割増 工種条件と同じ
Y1781	仮設工	1式		
Y1781200	環境対策工	1式		

入力データ一覧表

頁0-0071

コード	名称・規格など	数量／ 単位	単価 金額	条件 名称	値 称
Y17812005EP	環境対策	1 式			
G0100	環境対策資機材費	1 式			
F0320	セキュリティールーム設置撤去	1 式			
Y1781200	足場工	1 式			
Y17812005EP	足場工	1 式			
F1000	足場工 (タイプA3) 主体足場	1 式			
F1010	足場工 (タイプE) 片側朝顔 (シート+板張防護)	1 式			
V0200	吊足場養生工 床面部	299 m ²			
V0210	吊足場養生工 朝顔側面部	87 m ²			
F1020	ブラスト用養生シート	1 式			
V0230	橋梁点検車運転	日			
V0220	セキュリティールーム仮設仮囲い 板張防護含む	1 式			
Y1781232	交通管理工	1 式			
Y1781232Y21	交通誘導警備員	1 式			
S0914	交通誘導警備員の計上 交通誘導警備員B	1 式		A=51, B=2, C=2 A=必要日数, B=配置人数, C=交通誘導警備員B	
G0000	**直接工事費**				
Z0006	技術管理費	1 式			
V0300	極小規模鉄筋探査工 下向き	2.1 m ²			

入力データ一覧表

コード	名称・規格など	数量／ 単位	単価 金額	条 件 名 称	値 称
V0301	極小規模鉄筋探査工 上向き	2.0 m ²			
Z0009	安全費	1式			
G0200	安全対策用備品費 ケレン、回収・分離時	1 式			
Z0050	共通仮設費（率分）	1式			
G1000	**共通仮設費計**				
G2000	**純工事費**				
Z0020	現場管理費	1式			
G4000	**工事原価**				
Z0030	一般管理費等	1式			
Z0032	契約保証費	1式			
G3200	**一般管理費等計**				
G4800	**工事価格**				
G4500	**工事価格計**				
Z0039	消費税・地方消費税額	1式			
G4900	**請負工事費**				

数量計算書

工事名 橋梁補修工事

路線名 町道2-09号線

箇所名 中落合橋 上三川町大字川中子地内

数量総括表

R07中落合橋

工事区分(項目)・工種・種別・細別	規 格	単 位	数量(当初)	数量(変更)	数量(増減)	摘 要
本 工 事						
橋梁保全工事						
橋梁付属物工						
排水施設工						
排水管						
排水管撤去工	鋼管 100A	m	12.5			
排水管設置工	加工管 SUS製 φ152 支持金具取付含む	箇所	8			
橋梁用防護柵工						
防護柵補修工						
防護柵部分補修工	既設防護柵切断撤去・現場溶接設置	箇所	16			
FRPシート貼付工	紫外線硬化型	m ²	0.64			
橋梁補修工						
支取替工						
沓座モルタル打替工						
沓座モルタル打替工	A1橋台部	基	2			
沓座モルタル打替工	P1橋脚部	基	4			
沓座モルタル打替工	A2橋台部	基	2			
ひび割れ補修工						
充てん工法						
ひび割れ補修工(充てん工法)	1 構造物当り補修延べ延長20m未満 可とう性エポキシ樹脂	構造物	1			橋梁上部
ひび割れ補修工(充てん工法)	1 構造物当り補修延べ延長20m未満 ポリマーセメントモルタル	構造物	1			橋梁下部
低圧注入工法						
ひび割れ補修工(低圧注入工法)	1 構造物当り補修延べ延長98.7m エポキシ系樹脂(2種)	構造物	1			橋梁上部
ひび割れ補修工(低圧注入工法)	1 構造物当り補修延べ延長25m未満 エポキシ系樹脂(1種)	構造物	1			橋梁下部
断面修復工						
左官工法						
断面修復工(左官工法)	鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理あり 1 構造物当り修復延べ体積0.127m ³	構造物	1			断面修復A
断面修復工(左官工法)	鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理なし 1 構造物当り修復延べ体積0.258m ³	構造物	1			断面修復B
現場塗装工						
橋梁塗装工	桁、支承					
素地調整	桁、支承共通					
橋梁塗装工 清掃・水洗い(塗替)		m ²	724			
橋梁塗装工 素地調整(塗替)	1種ケレン	m ²	724			
発生材積込・回収		m ²	724			
車載式トラック		式	1			

数量総括表

R07中落合橋

工事区分(項目)・工種・種別・細別	規 格	単 位	数量(当初)	数量(変更)	数量(増減)	摘 要
下塗	桁等 錆転換防食塗装					
脱脂洗浄工	錆転換塗装	m ²	722			
下塗り工	錆転換塗装	m ²	722			
下塗	支承 特殊エポキシセラミック塗装					
下塗り工	エポキシ樹脂樹脂系セラミックコート	m ²	1.9			
中塗	桁等・支承 錆転換防食塗装					
橋梁塗装工 中塗り (塗替)	弱溶剤形ふっ素樹脂 淡彩 スプレー	m ²	724			
上塗	桁等・支承 錆転換防食塗装					
橋梁塗装工 上塗り (塗替)	弱溶剤形ふっ素樹脂 淡彩 スプレー	m ²	724			
構造物撤去工						
運搬処理工						
殻運搬、処分	断面修復、はつり等					
積込(コンクリート 殻)		m ³	0.5			
殻運搬	コンクリート(無筋) 構造物とりこわし 10.9km以下	m ³	0.5			
処分費	コンクリート(無筋)	m ³	0.5			
発生材処分	ケレンかす(PCB含有) 事業者保管用					
UN規格ドラム缶	特別産業廃棄物保管用	缶	9			
スクラップ						
諸経費対象外(共×現 ×ー×)		1式	1			
有価物控除	鉄 その他	t	0.28			Gコード内×、共×現× ー×、現環×
現場発生品運搬						
現場発生品及び支給品 運搬	DID区間なし	t	0.28			
現場発生品及び支給品 積み込み・荷卸し		t	0.28			
仮設工						
環境対策工						
環境対策						
環境対策資機材費		式	1			
セキュリティールーム 設置撤去		式	1			
足場工						
足場工						
足場工(タイプA3)	主体足場	式	1			
足場工(タイプE)	片側朝顔(シート+板張防護)	式	1			
吊足場養生工	床面部 板張防護・シート養生	m ²	299			
吊足場養生工	朝顔側面部 板張防護・シート養生	m ²	87			
プラスト用養生シート		式	1			
橋梁点検車運転		日				
セキュリティールーム 仮設仮囲い	板張防護含む	式	1			

数量総括表

R07中落合橋

工事区分(項目)・工種・種別・細別	規 格	単 位	数量(当初)	数量(変更)	数量(増減)	摘 要
交通管理工						
交通誘導警備員						
交通誘導警備員の計上	交通誘導警備員B	式	1			
直接工事費						
技術管理費		1式				
極小規模鉄筋探査工	下向き 報告書作成費用含む	m2	2.1			
極小規模鉄筋探査工	上向き 報告書作成費用含む	m2	2.0			
安全費		1式				
安全対策用備品費	ケレン、回収・分離時	式	1			

中落合橋 数量計算書

1. 数量集計表

1.2. 上部工コンクリート補修工

工種・細目		規格	単位	数量	摘要
ひびわれ補修工					
ひびわれ注工	注工延長		m	98.72	
	シール材	エポキシ系 比重：1.7	kg	15.10	
	注工器具	0.3m当り1本	本	330	
	注工材	エポキシ系樹脂(2種)	kg	16.32	ロス含む
ひびわれ充填工	充填工延長		m	12.41	
	充填材	可とう性エポキシ樹脂	kg	2.42	
断面修復工					
断面修復工A	補修面積		m ²	1.23	
	補修体積		m ³	0.086	
断面修復材		ポリマーセメントモルタル(防錆材あり)	m ³	0.086	
断面修復工B	補修面積		m ²	10.20	
	補修体積		m ³	0.255	
断面修復材		ポリマーセメントモルタル(防錆材なし)	m ³	0.255	
コンクリート殻		無筋	m ³	0.34	

1.3. 下部工コンクリート補修工

工種・細目		規格	単位	数量	摘要
ひびわれ補修工					
ひびわれ注工	注工延長		m	4.20	
	シール材	エポキシ系 比重：1.7	kg	0.64	
	注工器具	0.3m当り1本	本	14	
	注工材	エポキシ系樹脂(1種)	kg	0.69	ロス含む
ひびわれ充填工	充填工延長		m	0.35	
	充填材	ポリマーセメントモルタル	m ³	0.0001	2000kg/m ³ (物価資料)より 0.20kg
断面修復工					
断面修復工A	補修面積		m ²	0.58	
	補修体積		m ³	0.041	
断面修復材		ポリマーセメントモルタル(防錆材あり)	m ³	0.041	
断面修復工B	補修面積		m ²	0.14	
	補修体積		m ³	0.003	
断面修復材		ポリマーセメントモルタル(防錆材なし)	m ³	0.003	
コンクリート殻		無筋	m ³	0.04	

1. 4. 塗装塗替工

工種・細目	規格	単位	数量	摘要
塗装塗替工				
塗装塗替工	錆転換型防食塗装	m ²	721.8	上部工鋼部材・防護柵
素地調整工	1種ケレン(循環式プラスト工法同等)	m ²	721.8	

1. 5. 支承防錆処理工

工種・細目	規格	単位	数量	摘要
支承防錆処理工				
塗装塗替工	ジンクー体型重防食塗装(ラスクフ(E)2110(同等品))	m ²	1.9	
素地調整工	1種ケレン(循環式プラスト工法同等)	m ²	1.9	

1. 6. 沓座モルタル打替工

工種・細目	規格	単位	数量	摘要	
沓座モルタル打替工					
撤去	既設モルタル撤去	m ²	1.20		
		m ³	0.014		
	コンクリートはつり	t=30mm	m ²	2.14	
			m ³	0.082	
	鉄筋探査	下向き	m ²	2.14	
コンクリートカッター	t=20mm	m	21.0		
復旧	無収縮モルタル		m ³	0.146	
	型枠		m ²	0.46	
	差筋アンカー	D10(SD295)	本	32	必要長 L=9~40mm
	コンクリート削孔	φ14.5x45	孔	32	
	鉄筋質量	D10(SD295)	kg	24	

1. 7. 排水管取替工

工種・細目	規格	単位	数量	摘要	
排水管取替工					
既設排水管撤去	排水管撤去	鋼管 100A t=3.5mm(推定)	m	12.50	
			kg	120	
新設排水管	鉄筋探査工	上向き	m ²	2.0	
	コンクリートアンカーボルト設置	M10x80	箇所	32	
	排水管延長	SUS304 φ152 t=1.2	m	15.5	
	新設支持金具	SS400	組	8	
	鋼桁孔明工	φ14	箇所	16	

1.8. 防護柵部分補修工

工種・細目	規格	単位	数量	摘要
防護柵部分補修工				
ガス切断	t=3.2mm (推定)	m	3.8	
撤去重量	□75x45 t=3.2(推定) 単位重量:5.5kg/m	kg	158	鋼重
鋼材	STKR400 □75x45 t=3.2	kg	244	
現場溶接	6mmすみ肉溶接換算長	m	3.41	
FRPシート貼付工	紫外線硬化型(ウルトラバッチ同等品)	m ²	0.64	素地調整は塗装塗替工で計上

1.9. 足場工

工種・細目	規格	単位	数量	摘要
足場工				
吊り足場	タイプA3	m ²	298.6	
朝顔防護足場	タイプE 板張、シート張	m ²	87.1	
床面シート張り防護		m ²	298.6	
ブラスト用養生シート		m ²	298.6	
橋梁点検車		式	1	

中落合橋 各種集計

1. Co廃材（無筋扱）

上部工コンクリート補修工

コンクリート殻	無筋	m ³	0.34	参考重量0.799t
---------	----	----------------	------	------------

下部工コンクリート補修工

コンクリート殻	無筋	m ³	0.04	参考重量0.118t
---------	----	----------------	------	------------

沓座モルタル打替工

撤去	既設モルタル撤去		m ²	1.20		
			m ³	0.014	コンクリート殻(無筋) 参考重量:0.033t	
	コンクリートはつり	t=30mm		m ²	2.14	
				m ³	0.082	コンクリート殻(無筋) 参考重量:0.193t

合計		m ³	0.476	1.119t
----	--	----------------	-------	--------

2. 鋼材（スクラップ対応）

排水管取替工

既設排水管撤去	排水管撤去	鋼管 100A t=3.5mm(推定)	m	12.50	
			kg	120	

防護柵部分補修工

撤去重量	□75x45 t=3.2(推定) 単位重量:5.5kg/m	kg	158	鋼重
------	----------------------------------	----	-----	----

合計		kg	278	0.278t
----	--	----	-----	--------

3. 断面修復工

断面修復工A	補修体積	上部工	m ³	0.086	
	補修体積	下部工	m ³	0.041	
			m ³	0.127	合計

断面修復工B	補修体積	上部工	m ³	0.255	
	補修体積	下部工	m ³	0.003	
			m ³	0.258	合計

4. 塗装塗替工

素地調整、中塗り、上塗り	桁等	m ²	721.8	
	支承部	m ²	1.9	
		m ²	723.7	合計

2. 上部工コンクリート補修工

2.1. 数量総括表

2.1.1 上部工 ひびわれ注入工 数量総括表

工種	単位	数量	摘要
注入工延長	m	98.72	
シール材	kg	15.10	エポキシ系 比重：1.7
注入器具	本	330	0.3m当り1本
注入材	kg	16.32	エポキシ系樹脂(2種) ロス含む

2.1.2. 上部工 ひびわれ充填工 数量総括表

工種	単位	数量	摘要
充填工延長	m	12.41	
充填材	kg	2.42	可とう性エポキシ樹脂 比重：1.3

2.1.3. 上部工 断面修復工 数量総括表

工種	単位	数量	摘要
断面修復A	補修面積	m ²	1.23
	補修体積	m ³	0.086
断面修復材	ポリマーセメントモルタル (防錆剤あり)	m ³	0.086
断面修復B	補修面積	m ²	10.20
	補修体積	m ³	0.255
断面修復材	ポリマーセメントモルタル (防錆剤なし)	m ³	0.255
コンクリート殻	m ³	0.34	無筋コンクリート：参考重量0.8t

2.2. 上部工 ひびわれ注入工

2.2.1. 上部工ひびわれ注入工明細計算書

ひびわれ C (0.2mm以上～1.0mm未満) 数量表(1) : 床版下面(第1径間)

整理番号	損傷寸法			総延長 (m)
	幅 (mm)	長さ (mm)	箇所	
張出床版(下流側)				
h1	0.2	920	1	0.920
h2	0.2	920	1	0.920
h3	0.2	920	1	0.920
h4	0.2	420	1	0.420
h5	0.2	580	1	0.580
h6	0.2	500	1	0.500
h7	0.2	400	1	0.400
中間床版(G1～G2)				
h8	0.2	20800	1	20.800
h9	0.2	16750	1	16.750
h10	0.2	3150	1	3.150
h11	0.2	4160	1	4.160
h12	0.2	17870	1	17.870
張出床版(上流側)				
h13	0.2	800	1	0.800
h14	0.2	800	1	0.800
h15	0.2	650	1	0.650
h16	0.2	200	1	0.200
h17	0.2	650	1	0.650
ひびわれ注入工 小計				70.490

ひびわれ (0.2mm以上～1.0mm未満) 数量表(2) : 床版下面(第2径間)

整理番号	損傷寸法			総延長 (m)
	幅 (mm)	長さ (mm)	箇所	
張出床版(下流側)				
h1	0.2	920	1	0.920
h2	0.2	920	1	0.920
h3	0.2	600	1	0.600
中間床版(G1～G2)				
h4	0.2	3400	1	3.400
h5	0.2	1400	1	1.400
h6	0.2	3000	1	3.000
h7	0.2	4190	1	4.190
h8	0.2	12800	1	12.800
ひびわれ注入工 小計				27.230

ひびわれ C (0.2mm以上～1.0mm未満) 数量表(2) : 親柱(第2径間)

整理番号	損傷寸法			総延長 (m)
	幅 (mm)	長さ (mm)	箇所	
親柱				
h1	0.5	700	1	0.700
h2	0.5	300	1	0.300
ひびわれ注入工 小計				1.000

2.2.2. 注入工延長

ひびわれ延長 (ひびわれ数量表より)

床版下面(第1径間)	L1=	70.49	m
床版下面(第2径間)	L2=	27.23	m
親柱(第2径間)	L3=	1.00	m

ひびわれ注入工 延長合計 $\Sigma L =$ 98.72 m

2.2.3. シール材質量

シール材(エポキシ系)

$$W = \frac{98.72}{\text{延長}} \times \frac{0.030}{\text{幅}} \times \frac{0.003}{\text{厚さ}} \times \frac{1.7}{\text{比重}} \times 1700 = 15.10 \text{ kg}$$

2.2.4. 注入器具

注入器具

注入器想定ピッチ : 300 mm

$$N = \frac{98.72}{\text{延長}} / \frac{0.3}{\text{ピッチ}} = 330 \text{ 本}$$

2.2.5. 注入材質量

注入材(エポキシ系樹脂2種)

ロス率 : 1.15

注入器容量想定 : 43 g/本

$$W = \frac{330}{\text{本数}} \times \frac{0.043}{\text{容量}} \times 1.15 = 16.32 \text{ kg}$$

2.3. 上部工 ひびわれ充填工

2.3.1. 上部工ひびわれ充填工明細計算書

ひびわれ C (遊離石灰を伴う) 数量表(1) : 床版下面(第1径間)

整理番号	損傷寸法			総延長 (m)
	幅 (mm)	長さ (mm)	箇所	
張出床版(下流側)				
hY1	-	500	1	0.500
hY2	-	350	1	0.350
hY3	-	700	1	0.700
hY4	-	200	1	0.200
hY5	-	700	1	0.700
hY6	-	200	1	0.200
中間床版(G1~G2)				
hY7	-	2300	1	2.300
hY8	-	100	1	0.100
hY9	-	100	1	0.100
hY10	-	4240	1	4.240
hY11	-	890	1	0.890
張出床版(上流側)				
hY12	-	100	1	0.100
hY13	-	200	1	0.200
ひびわれ充填工 小計				10.580

ひびわれ (遊離石灰を伴う場合) 数量表(2) : 床版下面(第2径間)

整理番号	損傷寸法			総延長 (m)
	幅 (mm)	長さ (mm)	箇所	
張出床版(上流側)				
hY1	-	1550	1	1.550
hY2	-	80	1	0.080
hY3	-	200	1	0.200
ひびわれ充填工 小計				1.830

2.3.2. 施工延長

ひびわれ延長 (ひびわれ数量表より)

第1径間 L1= 10.580 m
第2径間 L2= 1.830 m

ひびわれ充填工 延長合計 ΣL= 12.41 m

2.3.3. 充填材

可とう性エポキシ樹脂 比重: 1.30

$$W = \frac{\text{延長}}{\text{厚さ}} \times \frac{\text{幅}}{\text{幅}} \times 1300 = 2.42 \text{ kg}$$

2. 4. 上部工 断面修復工
2. 4. 1. 上部工断面修復工明細計算書

床版下面(第1径間)

番号	名称	損傷種類	損傷寸法			カッター工範囲		面積 (m ²)	深さ (mm)	体積 (m ³)
			幅	長さ	箇所	幅	長さ			
T1	張出床版(下流側)	鉄筋露出	100	20	1	150	70	0.011	70	0.0008
T2	張出床版(下流側)	鉄筋露出	150	80	1	200	130	0.026	70	0.0018
T3	張出床版(下流側)	鉄筋露出	150	150	1	200	200	0.040	70	0.0028
T4	張出床版(下流側)	鉄筋露出	100	100	1	150	150	0.023	70	0.0016
T5	張出床版(下流側)	鉄筋露出	100	100	1	150	150	0.023	70	0.0016
T6	張出床版(下流側)	鉄筋露出	100	80	1	150	130	0.020	70	0.0014
T7	張出床版(下流側)	鉄筋露出	100	100	1	150	150	0.023	70	0.0016
T8	張出床版(下流側)	鉄筋露出	100	50	1	150	100	0.015	70	0.0011
T9	張出床版(下流側)	鉄筋露出	150	200	1	200	250	0.050	70	0.0035
T10	張出床版(下流側)	鉄筋露出	100	100	1	150	150	0.023	70	0.0016
T11	張出床版(下流側)	鉄筋露出	150	100	1	200	150	0.030	70	0.0021
T12	張出床版(下流側)	鉄筋露出	100	100	1	150	150	0.023	70	0.0016
T13	張出床版(下流側)	鉄筋露出	100	50	1	150	100	0.015	70	0.0011
T14	張出床版(下流側)	鉄筋露出	200	50	1	250	100	0.025	70	0.0018
T15	張出床版(上流側)	鉄筋露出	100	100	1	150	150	0.023	70	0.0016
T16	張出床版(上流側)	鉄筋露出	150	150	1	200	200	0.040	70	0.0028
T17	張出床版(上流側)	鉄筋露出	200	150	1	250	200	0.050	70	0.0035
T18	張出床版(上流側)	鉄筋露出	100	100	1	150	150	0.023	70	0.0016
T19	張出床版(上流側)	鉄筋露出	200	150	1	250	200	0.050	70	0.0035
T20	張出床版(上流側)	鉄筋露出	100	150	1	150	200	0.030	70	0.0021
T21	張出床版(上流側)	鉄筋露出	100	150	1	150	200	0.030	70	0.0021
T22	張出床版(上流側)	鉄筋露出	100	150	1	150	200	0.030	70	0.0021
T23	張出床版(上流側)	鉄筋露出	100	50	1	150	100	0.015	70	0.0011
T24	張出床版(上流側)	鉄筋露出	200	150	1	250	200	0.050	70	0.0035
T25	張出床版(上流側)	鉄筋露出	150	50	1	200	100	0.020	70	0.0014
T26	張出床版(上流側)	鉄筋露出	150	100	1	200	150	0.030	70	0.0021
T27	張出床版(上流側)	鉄筋露出	100	120	1	150	170	0.026	70	0.0018
断面修復工A 小計								0.764		0.0536

床版下面(第2径間)

番号	名称	損傷種類	損傷寸法			カッター工範囲		面積 (m ²)	深さ (mm)	体積 (m ³)
			幅	長さ	箇所	幅	長さ			
T1	張出床版(下流側)	鉄筋露出	100	50	1	150	100	0.015	70	0.0011
T2	張出床版(下流側)	鉄筋露出	100	50	1	150	100	0.015	70	0.0011
T3	張出床版(下流側)	鉄筋露出	50	50	1	100	100	0.010	70	0.0007
T4	張出床版(下流側)	鉄筋露出	50	20	1	100	70	0.007	70	0.0005
T5	張出床版(下流側)	鉄筋露出	10	10	1	60	60	0.004	70	0.0003
T6	張出床版(下流側)	鉄筋露出	50	20	1	100	70	0.007	70	0.0005
T7	張出床版(下流側)	鉄筋露出	10	10	1	60	60	0.004	70	0.0003
T8	張出床版(下流側)	鉄筋露出	50	100	1	100	150	0.015	70	0.0011
T9	張出床版(下流側)	鉄筋露出	60	20	1	110	70	0.008	70	0.0006
T10	張出床版(下流側)	鉄筋露出	100	100	1	150	150	0.023	70	0.0016
T11	張出床版(下流側)	鉄筋露出	10	10	1	60	60	0.004	70	0.0003
T12	張出床版(下流側)	鉄筋露出	200	200	1	250	250	0.063	70	0.0044
T13	張出床版(下流側)	鉄筋露出	100	50	1	150	100	0.015	70	0.0011
T14	張出床版(下流側)	鉄筋露出	150	200	2	200	250	0.100	70	0.0070
T15	張出床版(下流側)	鉄筋露出	150	60	1	200	110	0.022	70	0.0015
T16	張出床版(上流側)	鉄筋露出	80	40	1	130	90	0.012	70	0.0008
T17	張出床版(上流側)	鉄筋露出	150	150	1	200	200	0.040	70	0.0028
T18	張出床版(上流側)	鉄筋露出	100	100	1	150	150	0.023	70	0.0016
断面修復工A 小計								0.387		0.0273

地覆側面(第2径間)

番号	名称	損傷種類	損傷寸法			カッター工範囲		面積 (m ²)	深さ (mm)	体積 (m ³)
			幅	長さ	箇所	幅	長さ			
T19	地覆側面(外側)	鉄筋露出	170	100	1	220	150	0.033	70	0.0023
T20	地覆側面(外側)	鉄筋露出	50	50	1	100	100	0.010	70	0.0007
T21	地覆側面(外側)	鉄筋露出	70	30	1	120	80	0.010	70	0.0007
T22	地覆側面(外側)	鉄筋露出	100	100	1	150	150	0.023	70	0.0016
断面修復工A 小計								0.076		0.0053

床版下面(第1径間)

番号	名称	損傷種類	損傷寸法			カッター工範囲		面積 (m ²)	深さ (mm)	体積 (m ³)
			幅	長さ	箇所	幅	長さ			
H1	中間床版	剥離	300	150	1	350	200	0.070	25	0.0018
断面修復工B 小計								0.070		0.0018

親柱(第1径間)

番号	名称	損傷種類	損傷寸法			カッター工範囲		面積 (m ²)	深さ (mm)	体積 (m ³)
			幅	長さ	箇所	幅	長さ			
A1	親柱	うき/欠損	-		1	CAD測定		0.650	25	0.0163
A2	親柱	うき/欠損	-		1	980	970	0.951	25	0.0238
A3	親柱	うき/欠損	-		1	730	905	0.661	25	0.0165
A4	親柱	うき/欠損	-		1	980	840	0.823	25	0.0206
A5	親柱	うき/欠損	-		1	700	910	0.637	25	0.0159
A6	親柱	うき/欠損	-		1	CAD測定		0.650	25	0.0163
A7	親柱	うき/欠損	-		1	700	910	0.637	25	0.0159
A8	親柱	うき/欠損	-		1	980	840	0.823	25	0.0206
A9	親柱	うき/欠損	-		1	980	970	0.951	25	0.0238
A10	親柱	うき/欠損	-		1	730	905	0.661	25	0.0165
断面修復工B 小計								7.444		0.1862

親柱(第2径間)

番号	名称	損傷種類	損傷寸法			カッター工範囲		面積 (m ²)	深さ (mm)	体積 (m ³)
			幅	長さ	箇所	幅	長さ			
A1	親柱	うき/欠損	-		1	CAD測定		0.650	25	0.0163
A2	親柱	うき/欠損	-		1	730	905	0.661	25	0.0165
A3	親柱	うき/欠損	-		1	680	970	0.660	25	0.0165
			-		1	680	910	0.619	25	0.0155
U1	親柱	うき	100	600	1	150	650	0.098	25	0.0025
断面修復工B 小計								2.688		0.0673

2.4.2. 補修面積					
①断面修復工A		A=	1.23	m ²	
②断面修復工B		A=	10.20	m ²	
2.4.3. 補修体積					
①断面修復工A		V=	0.086	m ³	
②断面修復工B		V=	0.255	m ³	
2.4.4. 断面修復材					
ポリマーセメントモルタル(防錆剤塗布あり)					
①断面修復工A		V=	0.086	m ³	
ポリマーセメントモルタル(防錆剤塗布なし)					
②断面修復工B		V=	0.255	m ³	
2.4.5. コンクリート殻					
無筋		単位質量 :	2.350	t/m ³	
		コンクリート殻 体積合計 ΣV=	0.341	m ³	
参考重量					
W=	0.341	×	2.350	t/m ³	= 0.8 t

3. 下部工コンクリート補修工

3.1. 数量総括表

3.1.1 下部工 ひびわれ注入工 数量総括表

工種	単位	数量	摘要
注入工延長	m	4.20	
シール材	kg	0.64	エポキシ系 比重：1.7
注入器具	本	14	0.3m当り1本
注入材	kg	0.69	エポキシ系樹脂(1種) ロス含む

3.1.2. 下部工 ひびわれ充填工 数量総括表

工種	単位	数量	摘要
充填工延長	m	0.35	
充填材	m ³	0.0001	ポリマーセメントモルタル

3.1.3. 下部工 断面修復工 数量総括表

工種		単位	数量	摘要
断面修復A	補修面積	m ²	0.58	
	補修体積	m ³	0.041	
断面修復材	ポリマーセメントモルタル (防錆剤あり)	m ³	0.041	
断面修復B	補修面積	m ²	0.14	
	補修体積	m ³	0.003	
断面修復材	ポリマーセメントモルタル (防錆剤なし)	m ³	0.003	
コンクリート殻		m ³	0.04	無筋コンクリート：参考重量0.1t

3.2. 下部工 ひびわれ注入工

3.2.1. 下部工ひびわれ注入工明細計算書

ひびわれ C (0.2mm以上~1.0mm未満) 数量表(1)

整理番号	損傷寸法			総延長 (m)
	幅 (mm)	長さ (mm)	箇所	
A2橋台				
h1	0.2	300	1	0.300
P1橋脚				
h1	0.2	2250	1	2.250
h2	0.2	1200	1	1.200
h3	0.2	450	1	0.450
ひびわれ注入工 小計				4.200

3.2.2. 注入工延長

ひびわれ延長 (ひびわれ数量表より)

$$\text{ひびわれ注入工 延長合計 } \Sigma L = 4.20 \text{ m}$$

3.2.3. シール材質量

シール材(エポキシ系)

比重: 1.7

$$W = \frac{4.20}{\text{延長}} \times \frac{0.030}{\text{幅}} \times \frac{0.003}{\text{厚さ}} \times \frac{1700}{\text{比重}} = 0.64 \text{ kg}$$

3.2.4. 注入器具

注入器具

注入器想定ピッチ: 300 mm

$$N = \frac{4.20}{\text{延長}} / \frac{0.3}{\text{ピッチ}} = 14 \text{ 本}$$

3.2.5. 注入材質量

注入材(エポキシ系樹脂1種)

ロス率: 1.15

注入器容量想定: 43 g/本

$$W = \frac{14}{\text{本数}} \times \frac{0.043}{\text{容量}} \times 1.15 = 0.69 \text{ kg}$$

3.3. 下部工 ひびわれ充填工

3.3.1. 下部工ひびわれ充填工明細計算書

ひびわれ C (遊離石灰を伴う) 数量表(1)

整理番号	損傷寸法			総延長 (m)
	幅 (mm)	長さ (mm)	箇所	
A2橋台				
hY1	-	350	1	0.350
ひびわれ充填工	小計			0.350

3.3.2. 施工延長

ひびわれ延長 (ひびわれ数量表より)

ひびわれ充填工 延長合計 $\Sigma L = 0.35 \text{ m}$

3.3.3. 充填材

ポリマーセメントモルタル

$$W = \frac{0.350}{\text{延長}} \times \frac{0.015}{\text{厚さ}} \times \frac{0.010}{\text{幅}} = 0.0001 \text{ m}^3$$

3.4. 下部工 断面修復工

3.4.1. 下部工断面修復工明細計算書

A1橋台

番号	名称	損傷種類	損傷寸法			カッター工範囲		面積 (m ²)	深さ (mm)	体積 (m ³)
			幅	長さ	箇所	幅	長さ			
T1	橋座面	鉄筋露出	400	500	1	450	550	0.248	70	0.0174
断面修復工A 小計								0.248		0.0174

P1橋脚

番号	名称	損傷種類	損傷寸法			カッター工範囲		面積 (m ²)	深さ (mm)	体積 (m ³)
			幅	長さ	箇所	幅	長さ			
T1	梁部	鉄筋露出	100	600	1	150	650	0.098	70	0.0069
T2	梁部	鉄筋露出	80	450	1	130	500	0.065	70	0.0046
T3	柱部	鉄筋露出	250	500	1	300	550	0.165	70	0.0116
断面修復工A 小計								0.328		0.0231

P1橋脚

番号	名称	損傷種類	損傷寸法			カッター工範囲		面積 (m ²)	深さ (mm)	体積 (m ³)
			幅	長さ	箇所	幅	長さ			
U1	梁部	うき	100	300	1	150	350	0.053	25	0.0013
U2	柱部	うき	200	100	1	250	150	0.038	25	0.0010
断面修復工B 小計								0.091		0.0023

A2橋台

番号	名称	損傷種類	損傷寸法			カッター工範囲		面積 (m ²)	深さ (mm)	体積 (m ³)
			幅	長さ	箇所	幅	長さ			
H1	縦壁	剥離	250	100	1	300	150	0.045	25	0.0011
断面修復工B 小計								0.045		0.0011

3.4.2. 補修面積

①断面修復工A $A = 0.58 \text{ m}^2$

②断面修復工B $A = 0.14 \text{ m}^2$

3.4.3. 補修体積

①断面修復工A $V = 0.041 \text{ m}^3$

②断面修復工B $V = 0.003 \text{ m}^3$

3.4.4. 断面修復材

ポリマーセメントモルタル(防錆剤塗布あり)

①断面修復工A $V = 0.041 \text{ m}^3$

ポリマーセメントモルタル(防錆剤塗布なし)

②断面修復工B $V = 0.003 \text{ m}^3$

3.4.5. コンクリート殻

無筋

単位質量: 2.350 t/m^3

コンクリート殻 体積合計 $\Sigma V = 0.044 \text{ m}^3$

参考重量

$W = 0.044 \times 2.350 \text{ t/m}^3 = 0.1 \text{ t}$

4. 塗装塗替工

4.1. 塗装塗替工 総括表

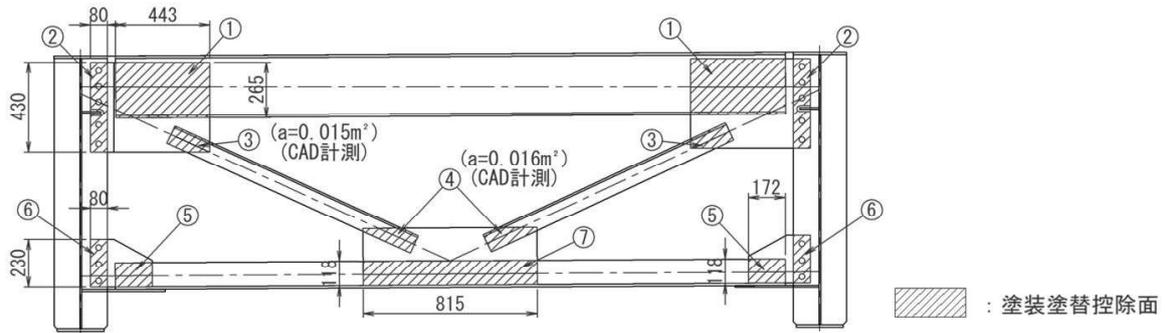
細別	規格	単位	数量	備考
塗装塗替工	錆転換型防食塗装	m ²	721.8	
素地調整	1種ケレン(循環式ブラスト工法同等)	m ²	721.8	

(控除部分)

控除①a1=	0.443 × 0.265 × 2面 × 8箇所	=	-1.878 m ²
控除②a2=	0.430 × 0.080 × 2面 × 8箇所	=	-0.550 m ²
控除③a3=	0.015 (CAD計測) × 2面 × 8箇所	=	-0.240 m ²
控除④a4=	0.016 (CAD計測) × 2面 × 8箇所	=	-0.256 m ²
控除⑤a5=	0.118 × 0.172 × 2面 × 8箇所	=	-0.325 m ²
控除⑥a6=	0.230 × 0.080 × 2面 × 8箇所	=	-0.294 m ²
控除⑦a7=	0.118 × 0.815 × 2面 × 4箇所	=	-0.769 m ²

端対傾構

1パネル当り(全4パネル)



中間対傾構

上弦材: L-130×130×9

$$17.9 \text{ kg/m} \times 0.0285 \text{ m}^2/\text{kg} = 0.510 \text{ m}^2/\text{m}$$

単位質量(kg/m) 単位塗装面積(m²/kg) 型鋼部材周長(m²/m)

$$L \ a1 = 3.171 \times 0.510 \times 1 \text{面} \times 8 \text{箇所} = 12.938 \text{ m}^2$$

斜材: L-75×75×9

$$9.96 \text{ kg/m} \times 0.0292 \text{ m}^2/\text{kg} = 0.291 \text{ m}^2/\text{m}$$

単位質量(kg/m) 単位塗装面積(m²/kg) 型鋼部材周長(m²/m)

$$L \ a2 = 1.451 \times 0.291 \times 1 \text{面} \times 16 \text{箇所} = 6.756 \text{ m}^2$$

$$\text{GUSS PL } a3 = 0.235 \times 0.315 \times 2 \text{面} \times 16 \text{箇所} = 2.369 \text{ m}^2$$

$$\text{GUSS PL } a4 = 0.305 \times 0.400 \times 2 \text{面} \times 16 \text{箇所} = 3.904 \text{ m}^2$$

$$\text{GUSS PL } a5 = 0.240 \times 0.740 \times 2 \text{面} \times 8 \text{箇所} = 2.842 \text{ m}^2$$

下弦材: L-130×130×12

$$L \ a6 = 3.171 \times 0.291 \times 1 \text{面} \times 8 \text{箇所} = 7.382 \text{ m}^2$$

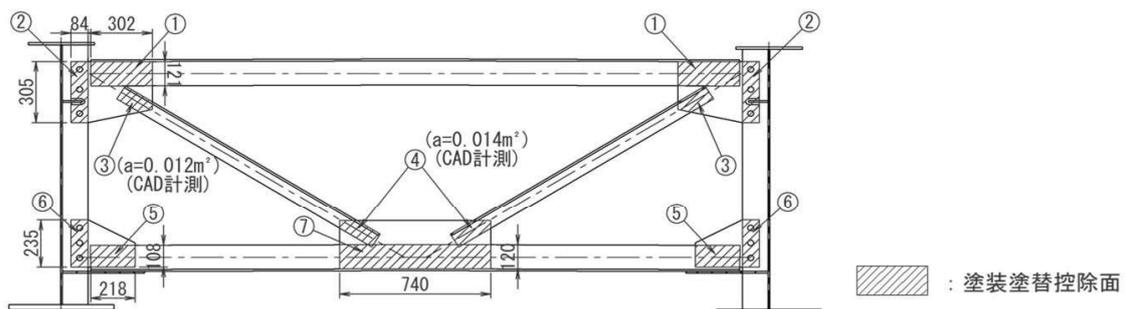
(控除部分)

控除①a1=	0.302 × 0.121 × 2面 × 16箇所	=	-1.169 m ²
控除②a2=	0.305 × 0.084 × 2面 × 16箇所	=	-0.820 m ²
控除③a3=	0.012 (CAD計測) × 2面 × 16箇所	=	-0.384 m ²
控除④a4=	0.014 (CAD計測) × 2面 × 16箇所	=	-0.448 m ²
控除⑤a5=	0.218 × 0.108 × 2面 × 16箇所	=	-0.753 m ²
控除⑥a6=	0.235 × 0.084 × 2面 × 16箇所	=	-0.632 m ²
控除⑦a7=	0.120 × 0.740 × 2面 × 8箇所	=	-1.421 m ²

対傾構合計 ΣA4 = 54.165 m²

中間対傾構

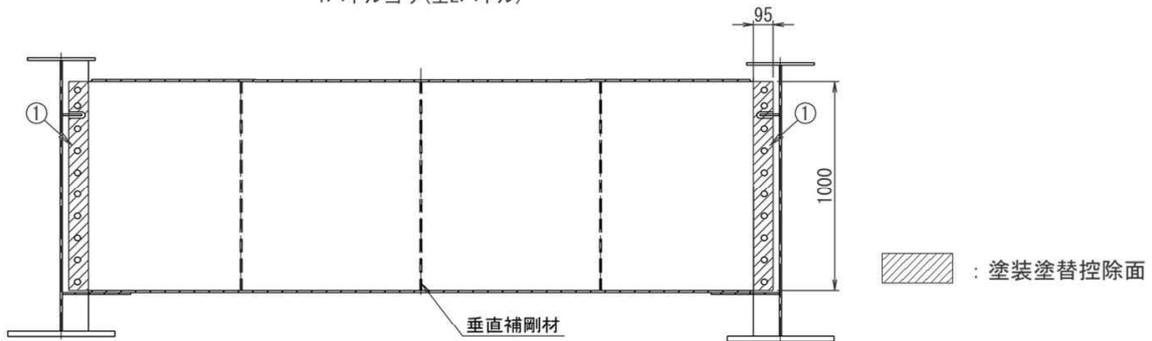
1パネル当り(全8パネル)



分配横桁									
U-FLG, L-FLG	a1=	0.200	×	3.165	×	2面 × 4箇所	=	5.064	m ²
WEB	a2=	1.000	×	3.385	×	2面 × 2箇所	=	13.540	m ²
V-STIFF	a3=	0.090	×	1.000	×	2面 × 6箇所	=	1.080	m ²
(控除部分)									
控除①	a1=	0.095	×	1.000	×	2面 × 4箇所	=	-0.760	m ²
分配横桁合計 ΣA5							=	18.924	m ²

分配横桁

1パネル当り(全2パネル)



下横構 CT-118×176×8×8

$$\frac{18.5 \text{ kg/m}}{\text{単位質量 (kg/m)}} \times \frac{0.0311 \text{ m}^2/\text{kg}}{\text{単位塗装面積 (m}^2/\text{kg)}} = \frac{0.575 \text{ m}^2/\text{m}}{\text{型鋼部材周長 (m}^2/\text{m)}}$$

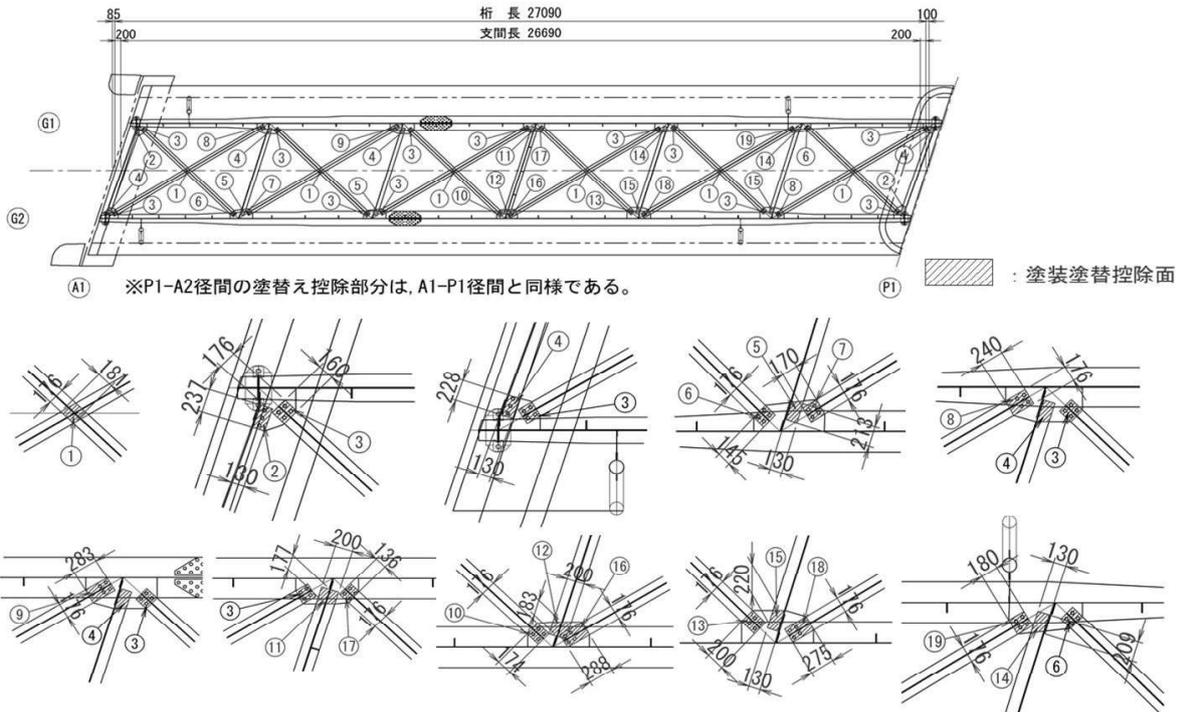
CT a1=	4.320	×	0.575	×	1 面	×	12 箇所	=	29.808	m ²
CT a2=	5.910	×	0.575	×	1 面	×	10 箇所	=	33.983	m ²
CT a3=	5.780	×	0.575	×	1 面	×	2 箇所	=	6.647	m ²
GUSS PL a4=	0.430	×	0.415	×	2 面	×	4 箇所	=	1.428	m ²
GUSS PL a5=	0.375	×	0.415	×	2 面	×	4 箇所	=	1.245	m ²
GUSS PL a6=	0.750	×	0.330	×	2 面	×	8 箇所	=	3.960	m ²
GUSS PL a7=	0.800	×	0.370	×	2 面	×	8 箇所	=	4.736	m ²
GUSS PL a8=	0.700	×	0.300	×	2 面	×	4 箇所	=	1.680	m ²

(控除部分)

控除①a1=	0.181	×	0.176	×	2 面	×	12 箇所	=	-0.765	m ²
控除②a2=	0.237	×	0.130	×	2 面	×	4 箇所	=	-0.246	m ²
控除③a3=	0.160	×	0.176	×	2 面	×	24 箇所	=	-1.352	m ²
控除④a4=	0.228	×	0.130	×	2 面	×	8 箇所	=	-0.474	m ²
控除⑤a5=	0.213	×	0.130	×	2 面	×	4 箇所	=	-0.222	m ²
控除⑥a6=	0.145	×	0.176	×	2 面	×	4 箇所	=	-0.204	m ²
控除⑦a7=	0.170	×	0.176	×	2 面	×	2 箇所	=	-0.120	m ²
控除⑧a8=	0.240	×	0.176	×	2 面	×	4 箇所	=	-0.338	m ²
控除⑨a9=	0.283	×	0.176	×	2 面	×	2 箇所	=	-0.199	m ²
控除⑩a10=	0.174	×	0.176	×	2 面	×	2 箇所	=	-0.122	m ²
控除⑪a11=	0.177	×	0.200	×	2 面	×	2 箇所	=	-0.142	m ²
控除⑫a12=	0.183	×	0.200	×	2 面	×	2 箇所	=	-0.146	m ²
控除⑬a13=	0.200	×	0.176	×	2 面	×	2 箇所	=	-0.141	m ²
控除⑭a14=	0.209	×	0.130	×	2 面	×	4 箇所	=	-0.217	m ²
控除⑮a15=	0.220	×	0.130	×	2 面	×	4 箇所	=	-0.229	m ²
控除⑯a16=	0.288	×	0.176	×	2 面	×	2 箇所	=	-0.203	m ²
控除⑰a17=	0.136	×	0.176	×	2 面	×	2 箇所	=	-0.096	m ²
控除⑱a18=	0.275	×	0.176	×	2 面	×	2 箇所	=	-0.194	m ²
控除⑲a19=	0.180	×	0.176	×	2 面	×	2 箇所	=	-0.127	m ²

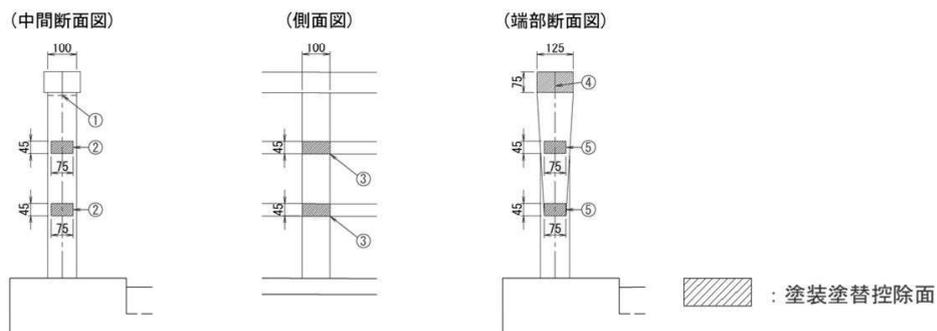
下横構合計 ΣA6 = 77.950 m²

平面図
(A1-P1)



高欄	支柱：□-100×100		
	a1= 0.100 × 0.675 × 4面 × 60箇所	=	16.200 m ²
	横栈(上段)：□-125×75		
	a1= 0.125 × 27.200 × 2面 × 2箇所 +		
	0.075 × 27.200 × 2面 × 2箇所	=	21.760 m ²
	a2= 0.125 × 27.161 × 2面 × 2箇所 +		
	0.075 × 27.161 × 2面 × 2箇所	=	21.729 m ²
	横栈(中段)：□-75×45		
	a1= 0.075 × 27.200 × 2面 × 4箇所 +		
	0.045 × 27.200 × 2面 × 4箇所	=	26.112 m ²
	a2= 0.075 × 27.161 × 2面 × 4箇所 +		
	0.045 × 27.161 × 2面 × 4箇所	=	26.075 m ²
	END PL-100×525		
	a1= 0.100 × 0.525 × 2面 × 8箇所	=	0.840 m ²
	(控除部分)		
	控除①a1= 0.100 × 0.100 × 1面 × 60箇所	=	-0.600 m ²
	控除②a2= 0.045 × 0.075 × 4面 × 60箇所	=	-0.810 m ²
	控除③a3= (0.045 + 0.075) × 0.100 × 2面		
	× 120 箇所	=	-2.880 m ²
	控除④a4= 0.125 × 0.075 × 1面 × 8 箇所	=	-0.075 m ²
	控除⑤a5= 0.045 × 0.075 × 2面 × 8 箇所	=	-0.054 m ²
	高欄合計 ΣA7 =		108.297 m ²

高欄詳細図



伸縮装置	L FLG 下面		
	a1= 0.100 × 5.850 × 1面 × 4箇所	=	2.340 m ²
	伸縮装置合計 ΣA8 =		2.340 m ²

合計 (ΣA1+ ΣA2+ ΣA3+ ΣA4+ ΣA5+ ΣA6+ ΣA7+ ΣA8)

$$\begin{aligned} \Sigma A &= 404.404 + 19.505 + 36.192 + 54.165 + 18.924 \\ &+ 77.950 + 108.297 + 2.340 \\ &= 721.777 \text{ m}^2 \end{aligned}$$

5. 支承防錆処理工

5.1. 支承防錆処理工 総括表

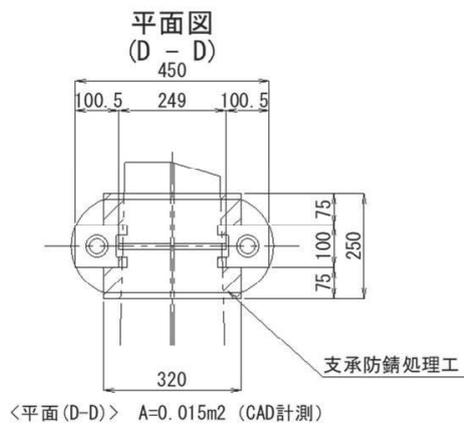
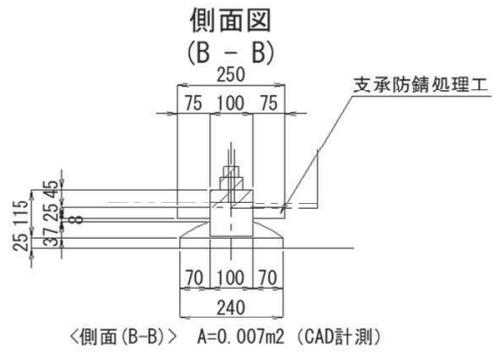
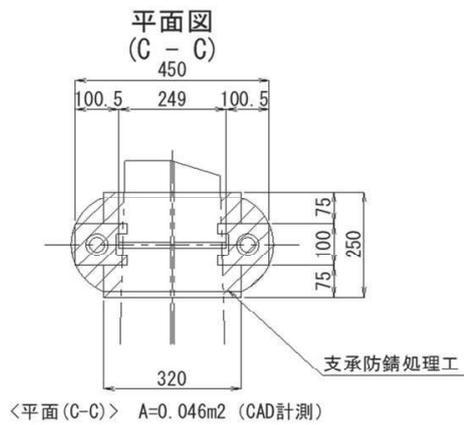
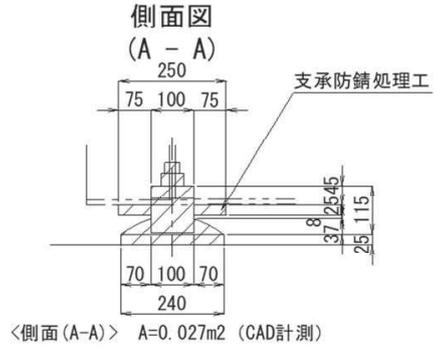
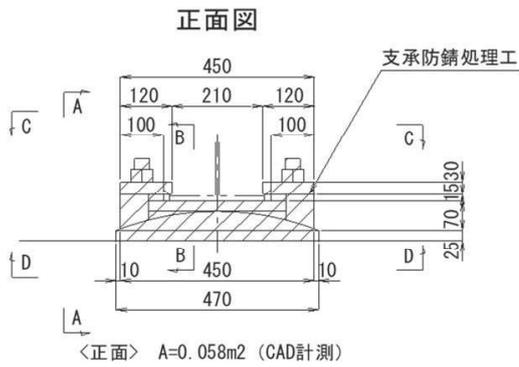
工種	規格	単位	数量	備考
塗装塗替工	ジンクー一体型重防食塗装 (ラスタップ(E)2110(同等品))	m ²	1.9	
素地調整	1種ケレン(循環式ブラ スト工法同等)	m ²	1.9	

5.2.1. 支承防錆处理工明細計算書

5.2.2. 数量根拠図

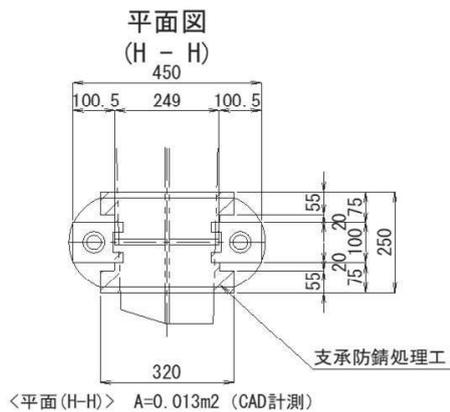
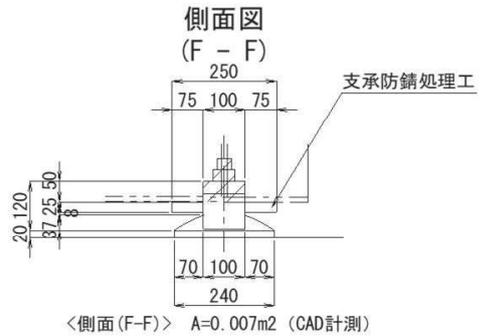
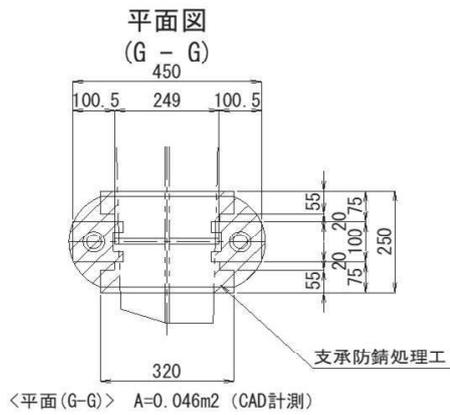
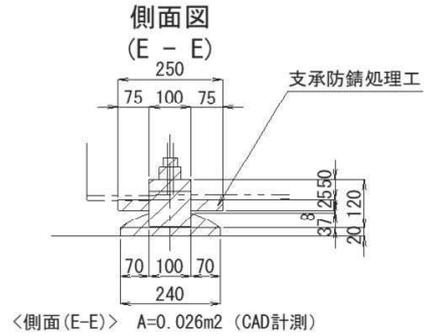
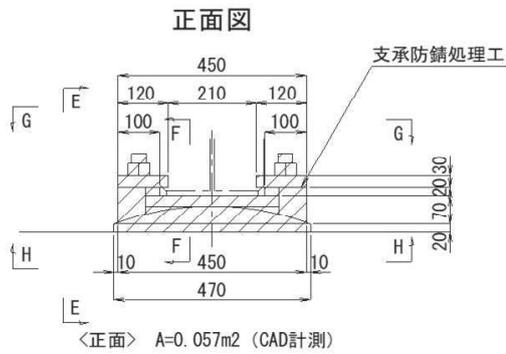
1) A1橋台(固定沓):2基

A1橋台(固定沓):2基



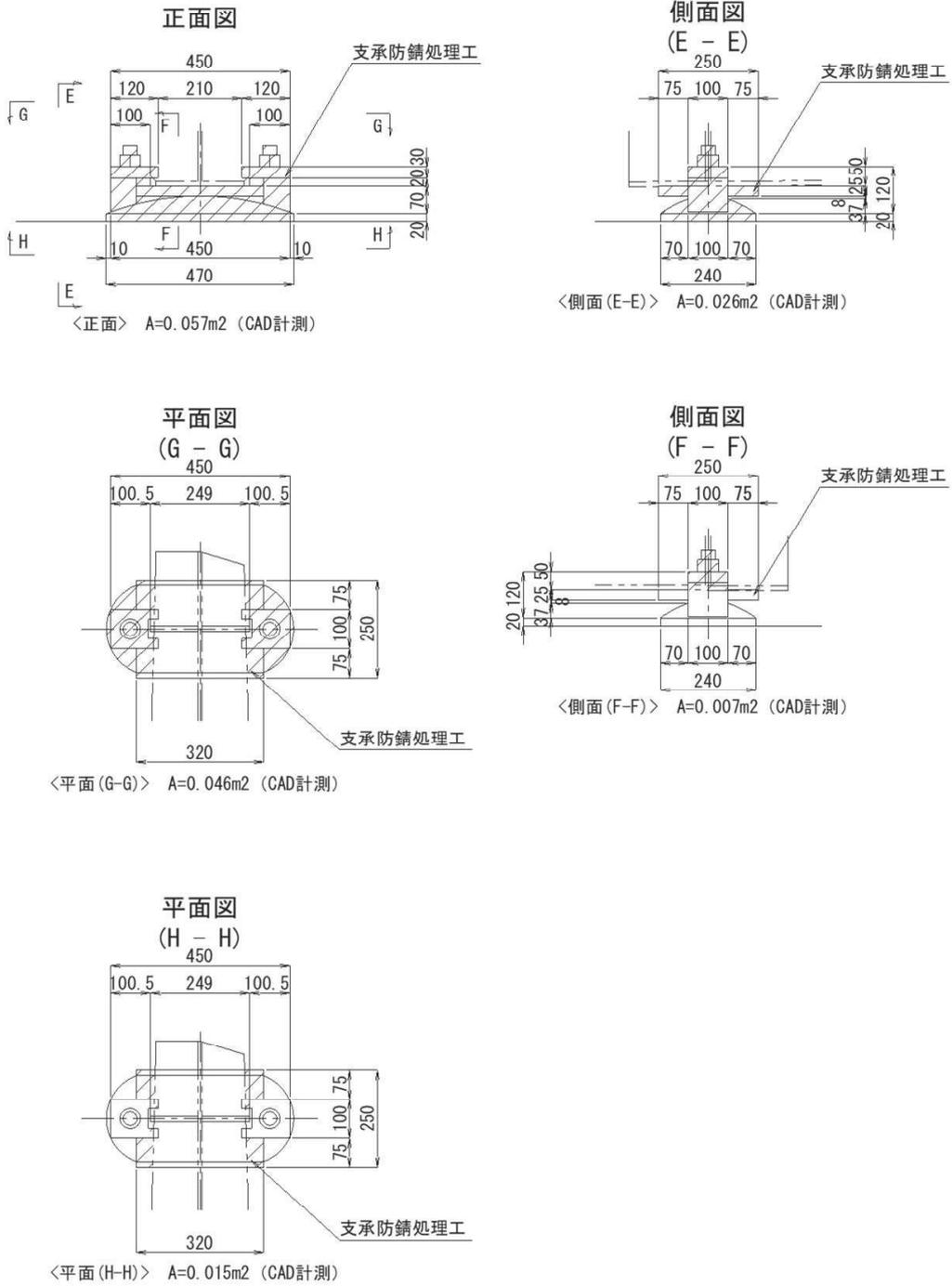
2) P1橋脚(可動沓):2基, A2橋台(可動沓):2基

P1橋脚(可動沓):2基
A2橋台(可動沓):2基



3) P1橋脚(固定沓):2基

P1橋脚(固定沓):2基



5. 2. 3. 支承防錆処理面積算出

1) A1橋台(固定沓):2基

< 正面 >	a1= 0.058	(CAD計測) × 2 面 × 2 基	=	0.232 m ²
< 側面(A-A) >	a2= 0.027	(CAD計測) × 2 面 × 2 基	=	0.108 m ²
< 側面(B-B) >	a3= 0.007	(CAD計測) × 2 面 × 2 基	=	0.028 m ²
< 平面(C-C) >	a4= 0.046	(CAD計測) × 1 面 × 2 基	=	0.092 m ²
< 平面(D-D) >	a5= 0.015	(CAD計測) × 1 面 × 2 基	=	0.030 m ²
A1橋台(固定沓) 支承合計				ΣA1= 0.490 m ²

2) P1橋脚(可動沓):2基, A2橋台(可動沓):2基

< 正面 >	a1= 0.057	(CAD計測) × 2 面 × 4 基	=	0.456 m ²
< 側面(E-E) >	a2= 0.026	(CAD計測) × 2 面 × 4 基	=	0.208 m ²
< 側面(F-F) >	a3= 0.007	(CAD計測) × 2 面 × 4 基	=	0.056 m ²
< 平面(G-G) >	a4= 0.046	(CAD計測) × 1 面 × 4 基	=	0.184 m ²
< 平面(H-H) >	a5= 0.013	(CAD計測) × 1 面 × 4 基	=	0.052 m ²
P1橋脚(可動沓), A2橋台(可動沓) 支承合計				ΣA2= 0.956 m ²

3) P1橋脚(固定沓):2基

< 正面 >	a1= 0.057	(CAD計測) × 2 面 × 2 基	=	0.228 m ²
< 側面(E-E) >	a2= 0.026	(CAD計測) × 2 面 × 2 基	=	0.104 m ²
< 側面(F-F) >	a3= 0.007	(CAD計測) × 2 面 × 2 基	=	0.028 m ²
< 平面(G-G) >	a4= 0.046	(CAD計測) × 1 面 × 2 基	=	0.092 m ²
< 平面(H-H) >	a5= 0.015	(CAD計測) × 1 面 × 2 基	=	0.030 m ²
P1橋脚(固定沓) 支承合計				ΣA3= 0.482 m ²

支承部 合計 (ΣA1+ΣA2+ΣA3)
 ΣA= 0.490 + 0.956 + 0.482 = 1.928 m²

6. 沓座モルタル補修工

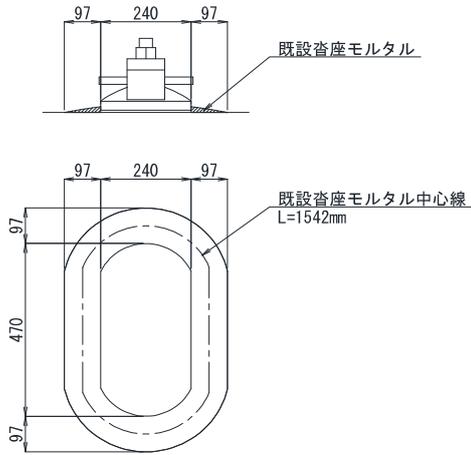
6.1. 沓座モルタル補修工 総括表

工種	規格	単位	数量				備考	
			A1橋台	P1橋脚	A2橋台	合計		
撤去	既設モルタル撤去	m ²	0.300	0.600	0.300	1.20		
		m ³	0.003	0.008	0.003	0.014	参考重量：0.03t	
	コンクリート はつり	t=30mm	m ²	0.715	0.734	0.692	2.14	
			m ³	0.020	0.042	0.020	0.082	参考重量：0.19t
	鉄筋探査	下向き	m ²	0.715	0.734	0.692	2.14	
	コンクリート カッター	t=20mm	m	5.0	11.3	4.7	21.0	
復旧	無収縮モルタル	m ³	0.032	0.082	0.032	0.146		
	型枠	m ²	0.092	0.290	0.078	0.46		
	差筋アンカー	D10 (SD295)	本	8	16	8	32	必要長 L=9~40mm
	コンクリート削孔	φ 14.5x45	孔	8	16	8	32	
	鉄筋質量	D10 (SD295)	kg	7	10	7	24	

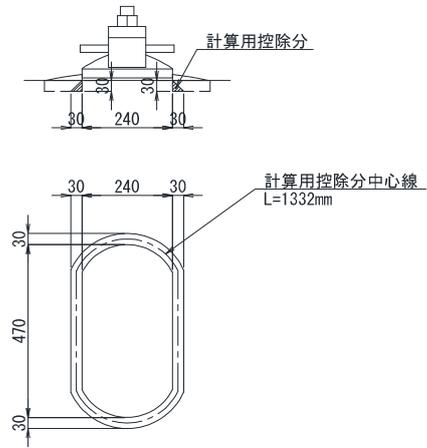
6.2. 沓座モルタル補修工 計算書

6.2.1. 数量算出図

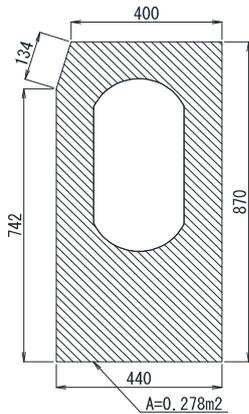
既設沓座モルタル外形



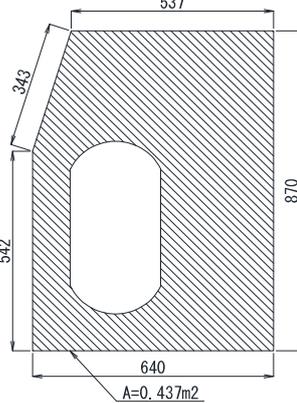
計算用控除分外形



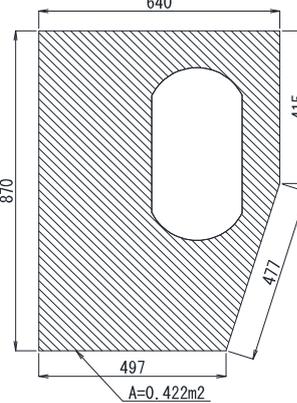
A1橋台 G1桁



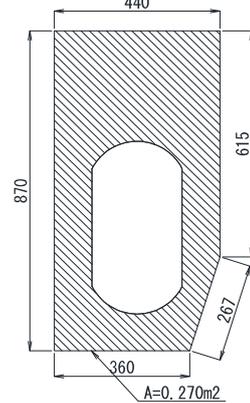
A1橋台 G2桁



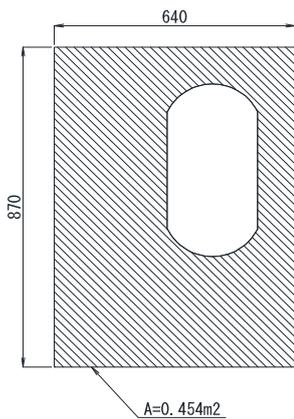
A2橋台 G1桁



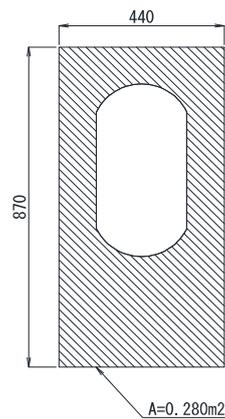
A2橋台 G2桁



P1橋脚 (A1側) G1桁、P1橋脚 (A2側) G2桁



P1橋脚 (A1側) G2桁、P1橋脚 (A2側) G1桁



6.2.2. 既設モルタル撤去

A1橋台 G1桁

$$A= 0.097 \times 1.542 = 0.150 \text{ m}^2$$

$$V= 0.097 \times 0.023 / 2 \times 1.542 = 0.002 \text{ m}^3$$

A1橋台 G2桁

$$A= 0.097 \times 1.542 = 0.150 \text{ m}^2$$

$$V= 0.097 \times 0.019 / 2 \times 1.542 = 0.001 \text{ m}^3$$

P1橋脚(A1側) G1桁

$$A= 0.097 \times 1.542 = 0.150 \text{ m}^2$$

$$V= 0.097 \times 0.035 / 2 \times 1.542 = 0.003 \text{ m}^3$$

P1橋脚(A1側) G2桁

$$A= 0.097 \times 1.542 = 0.150 \text{ m}^2$$

$$V= 0.097 \times 0.019 / 2 \times 1.542 = 0.001 \text{ m}^3$$

P1橋脚(A2側) G1桁

$$A= 0.097 \times 1.542 = 0.150 \text{ m}^2$$

$$V= 0.097 \times 0.019 / 2 \times 1.542 = 0.001 \text{ m}^3$$

P1橋脚(A2側) G2桁

$$A= 0.097 \times 1.542 = 0.150 \text{ m}^2$$

$$V= 0.097 \times 0.035 / 2 \times 1.542 = 0.003 \text{ m}^3$$

A2橋台 G1桁

$$A= 0.097 \times 1.542 = 0.150 \text{ m}^2$$

$$V= 0.097 \times 0.016 / 2 \times 1.542 = 0.001 \text{ m}^3$$

A2橋台 G2桁

$$A= 0.097 \times 1.542 = 0.150 \text{ m}^2$$

$$V= 0.097 \times 0.022 / 2 \times 1.542 = 0.002 \text{ m}^3$$

$$\Sigma A= 1.200 \text{ m}^2$$

$$\Sigma V= 0.014 \text{ m}^3$$

$$W= 0.014 \times 2.350 \text{ t/m}^3 = 0.033 \text{ t}$$

6.2.3. コンクリートはつり

t=30mm

A1橋台

$$A= 0.278 + 0.437 = 0.715 \text{ m}^2$$

$$V= 0.278 \times 0.030 \times 1 \text{ 箇所} + 0.437 \times 0.030 \times 1 \text{ 箇所} - 0.030 \times 0.030 / 2 \times 1.332 \times 2 \text{ 箇所} = 0.020 \text{ m}^3$$

P1橋脚

$$A= 0.454 + 0.280 = 0.734 \text{ m}^2$$

$$V= 0.454 \times 0.030 \times 2 \text{ 箇所} + 0.280 \times 0.030 \times 2 \text{ 箇所} - 0.030 \times 0.030 / 2 \times 1.332 \times 4 \text{ 箇所} = 0.042 \text{ m}^3$$

A2橋台

$$A= 0.422 + 0.270 = 0.692 \text{ m}^2$$

$$V= 0.422 \times 0.030 \times 1 \text{ 箇所} + 0.270 \times 0.030 \times 1 \text{ 箇所} - 0.030 \times 0.030 / 2 \times 1.332 \times 2 \text{ 箇所} = 0.020 \text{ m}^3$$

$$\Sigma A= 2.141 \text{ m}^2$$

$$\Sigma V= 0.082 \text{ m}^3$$

$$W= 0.082 \times 2.350 \text{ t/m}^3 = 0.193 \text{ t}$$

6.2.4. 鉄筋探査工

下向き

A1橋台

$$A= \text{「6.2.3. コンクリートはつり」と同様} = 0.715 \text{ m}^2$$

P1橋脚

$$A= \text{「6.2.3. コンクリートはつり」と同様} = 0.734 \text{ m}^2$$

A2橋台

$$A= \text{「6.2.3. コンクリートはつり」と同様} = 0.692 \text{ m}^2$$

$$\Sigma A= 2.141 \text{ m}^2$$

6.2.5. コンクリートカッター

t=20mm

A1橋台

$$L = (0.400 + 0.870 + 0.440 + 0.742) \times 1 \text{ 箇所} =$$

$$+ (0.537 + 0.870 + 0.640 + 0.542) \times 1 \text{ 箇所} = 5.0 \text{ m}$$

P1橋脚

$$L = (0.640 + 0.870) \times 2 \times 2 \text{ 箇所} =$$

$$+ (0.440 + 0.870) \times 2 \times 2 \text{ 箇所} = 11.3 \text{ m}$$

A2橋台

$$L = (0.640 + 0.415 + 0.497 + 0.870) \times 1 \text{ 箇所} =$$

$$+ (0.440 + 0.615 + 0.360 + 0.870) \times 1 \text{ 箇所} = 4.7 \text{ m}$$

$$\Sigma L = 21.0 \text{ m}$$

6.2.6. 無収縮モルタル

A1橋台 G1桁

$$V = 0.278 \times 0.058 \times 1 \text{ 箇所} =$$

$$- 0.030 \times 0.030 / 2 \times 1.332 \times 1 \text{ 箇所} = 0.016 \text{ m}^3$$

A1橋台 G2桁

$$V = 0.437 \times 0.039 \times 1 \text{ 箇所} =$$

$$- 0.030 \times 0.030 / 2 \times 1.332 \times 1 \text{ 箇所} = 0.016 \text{ m}^3$$

P1橋脚(A1側) G1桁

$$V = 0.454 \times 0.070 \times 1 \text{ 箇所} =$$

$$- 0.030 \times 0.030 / 2 \times 1.332 \times 1 \text{ 箇所} = 0.031 \text{ m}^3$$

P1橋脚(A1側) G2桁

$$V = 0.280 \times 0.039 \times 1 \text{ 箇所} =$$

$$- 0.030 \times 0.030 / 2 \times 1.332 \times 1 \text{ 箇所} = 0.010 \text{ m}^3$$

P1橋脚(A2側) G1桁

$$V = 0.280 \times 0.039 \times 1 \text{ 箇所} =$$

$$- 0.030 \times 0.030 / 2 \times 1.332 \times 1 \text{ 箇所} = 0.010 \text{ m}^3$$

P1橋脚(A2側) G2桁

$$V = 0.454 \times 0.070 \times 1 \text{ 箇所} =$$

$$- 0.030 \times 0.030 / 2 \times 1.332 \times 1 \text{ 箇所} = 0.031 \text{ m}^3$$

A2橋台 G1桁

$$V = 0.422 \times 0.051 \times 1 \text{ 箇所} =$$

$$- 0.030 \times 0.030 / 2 \times 1.332 \times 1 \text{ 箇所} = 0.021 \text{ m}^3$$

A2橋台 G2桁

$$V = 0.270 \times 0.042 \times 1 \text{ 箇所} =$$

$$- 0.030 \times 0.030 / 2 \times 1.332 \times 1 \text{ 箇所} = 0.011 \text{ m}^3$$

$$\Sigma V = 0.146 \text{ m}^3$$

6.2.7. 型枠

A1橋台 G1桁 (h=28mm)	$A = (0.400 + 0.870 + 0.440 + 0.742) \times 0.028$	
	$\times 1 \text{ 箇所}$	$= 0.069 \text{ m}^2$
A1橋台 G2桁 (h=9mm)	$A = (0.537 + 0.870 + 0.640 + 0.542) \times 0.009$	
	$\times 1 \text{ 箇所}$	$= 0.023 \text{ m}^2$
P1橋脚(A1側) G1桁 (h=40mm)	$A = (0.640 \times 2 + 0.870 \times 2) \times 0.040$	
	$\times 1 \text{ 箇所}$	$= 0.121 \text{ m}^2$
P1橋脚(A1側) G2桁 (h=9mm)	$A = (0.440 \times 2 + 0.870 \times 2) \times 0.009$	
	$\times 1 \text{ 箇所}$	$= 0.024 \text{ m}^2$
P1橋脚(A2側) G1桁 (h=9mm)	$A = (0.440 \times 2 + 0.870 \times 2) \times 0.009$	
	$\times 1 \text{ 箇所}$	$= 0.024 \text{ m}^2$
P1橋脚(A2側) G2桁 (h=40mm)	$A = (0.640 \times 2 + 0.870 \times 2) \times 0.040$	
	$\times 1 \text{ 箇所}$	$= 0.121 \text{ m}^2$
A2橋台 G1桁 (h=21mm)	$A = (0.640 + 0.415 + 0.497 + 0.870) \times 0.021$	
	$\times 1 \text{ 箇所}$	$= 0.051 \text{ m}^2$
A2橋台 G2桁 (h=12mm)	$A = (0.440 + 0.615 + 0.360 + 0.870) \times 0.012$	
	$\times 1 \text{ 箇所}$	$= 0.027 \text{ m}^2$
		$\Sigma A = 0.460 \text{ m}^2$

6.2.8. 差筋アンカー

D10 (SD295)用 (1箇所当り4本)		
A1橋台	$n = 4 \times 2 \text{ 箇所}$	$= 8 \text{ 本}$
P1橋脚	$n = 4 \times 4 \text{ 箇所}$	$= 16 \text{ 本}$
A2橋台	$n = 4 \times 2 \text{ 箇所}$	$= 8 \text{ 本}$
		$\Sigma n = 32 \text{ 本}$

6.2.9. コンクリート削孔

$\phi 14.5 \times 45$		
A1橋台	$n = 4 \times 2 \text{ 箇所}$	$= 8 \text{ 孔}$
P1橋脚	$n = 4 \times 4 \text{ 箇所}$	$= 16 \text{ 孔}$
A2橋台	$n = 4 \times 2 \text{ 箇所}$	$= 8 \text{ 孔}$
		$\Sigma n = 32 \text{ 孔}$

6.3. 鉄筋数量

A1橋台

記号	径	長さ	本数	単位重量	一本当り重量	合計重量	摘要	
①	D10	1720	1	0.56	0.96	1	帯筋	
②	D10	1160	1	0.56	0.65	1	帯筋	
③	D10	370	1	0.56	0.21	1	帯筋	
④	D10	1870	1	0.56	1.05	1	帯筋	
⑤	D10	1360	1	0.56	0.76	1	帯筋	
⑥	D10	540	1	0.56	0.30	1	帯筋	
⑦	D10	800	1	0.56	0.45	1	帯筋	
						D10	7	kg (SD295)

A2橋台

記号	径	長さ	本数	単位重量	一本当り重量	合計重量	摘要	
②	D10	1160	1	0.56	0.65	1	帯筋	
③	D10	370	1	0.56	0.21	1	帯筋	
⑦	D10	800	1	0.56	0.45	1	帯筋	
⑧	D10	1220	1	0.56	0.68	1	帯筋	
⑨	D10	1970	1	0.56	1.10	1	帯筋	
⑩	D10	500	1	0.56	0.28	1	帯筋	
⑪	D10	1690	1	0.56	0.95	1	帯筋	
						D10	7	kg (SD295)

P1橋脚

記号	径	長さ	本数	単位重量	一本当り重量	合計重量	摘要	
③	D10	370	2	0.56	0.21	1	帯筋	
⑦	D10	800	2	0.56	0.45	1	帯筋	
⑫	D10	1450	4	0.56	0.81	3	帯筋	
⑬	D10	1650	4	0.56	0.92	4	帯筋	
⑭	D10	570	2	0.56	0.32	1	帯筋	
						D10	10	kg (SD295)
						合計	24	kg (SD295)

7. 排水管取替工

7.1. 排水管取替工 数量総括表

工種		規格	単位	数量	備考
既設排水撤去	排水管撤去	鋼管 100A t=3.5mm(推定)	m	12.50	
			kg	120	
新設排水	鉄筋探査工	上向き	m ²	2.0	
	コンクリートアンカーボルト設置	M10x80	箇所	32	
	排水管延長	SUS304 φ152 t=1.2	m	15.5	
	新設支持金具	SS400	組	8	
	鋼桁孔明工	φ14	箇所	16	

9.2. 排水管取替工 計算書

9.2.1. 既設排水管撤去工 (鋼管 100A t=3.5mm(推定))

(1) 撤去排水管

$$L = (0.271 + 0.610 + 0.678) \times 8 = 12.5 \text{ m}$$

$$W = 9.56 \text{ kg/m} \times 12.500 = 120 \text{ kg}$$

9.2.2. 排水管設置工

(1) 鉄筋探查工

天板プレート側 (上向き)

鉄筋探查範囲は、1箇所当り500×500を想定。

$$A = 0.500 \times 0.500 \times 8 = 2.0 \text{ m}^2$$

(2) コンクリートアンカーボルト設置

天板プレート側 (M10x80)

$$n = 4 \times 8 = 32 \text{ 箇所}$$

(3) 排水管延長 (SUS304 φ152 t=1.2)

$$L = (0.370 + 0.6435 + 0.925) \times 8 = 15.5 \text{ m}$$

(4) 新設支持金具 (SS400)

$$n = 8 = 8 \text{ 組}$$

(5) 鋼桁孔明工 (φ14)

$$n = 2 \times 8 = 16 \text{ 箇所}$$

8. 防護柵部分補修工

8.1. 防護柵部分補修工 数量総括表

工種	規格	単位	数量	備考
ガス切断	□75×45 t=3.2(推定)	m	3.84	
撤去重量	□75x45 t=3.2(推定) 単位重量:5.5kg/m	kg	158	鋼重
鋼材	STKR400 □75x45 t=3.2	kg	244	
現場溶接	6mmすみ肉溶接換算長	m	3.41	
FRPシート貼付工	紫外線硬化型(ウルトラパッチ同等品)	m ²	0.64	素地調整は塗装塗替 工で計上

8.2. 防護柵部分補修工 計算書

10.2.1. 横棧取替工

1) ガス切断 (□75×45 t=3.2(推定))
 $L = (0.075 + 0.045) \times 2 \times 16 \text{ 本} = 3.84 \text{ m}$

2) 撤去重量 (単位質量 5.5kg/m)
 $L = 1.800 \times 16 \text{ 本} = 28.80 \text{ m}$
 $W = 28.800 \times 5.5 \text{ kg/m} = 158 \text{ kg}$

※角形鋼管の単位mあたり重量は、デザインデータブックを参照した。

3) 鋼材 (STKR400 □75x45 t=3.2)
 $\square 75 \times 45 \times 1798 \text{ t}=4.5$
 $L = 1.798 \times 16 \text{ 本} = 28.77 \text{ m}$
 $W = 28.77 \text{ m} \times (0.075 + 0.045) \times 2 \times 0.0045 \times 7850 \text{ kg/m}^3 = 244 \text{ kg}$

4) 現場溶接 (4mmすみ肉溶接)
 $L = (0.075 + 0.045) \times 2 \times 16 \text{ 本} \times 2 = 7.68 \text{ m}$

6mmすみ肉溶接換算長 換算率 : 0.444
 $L = 7.68 \text{ m} \times 0.444 = 3.41 \text{ m}$

5) FRPシート貼付工 (紫外線硬化型(ウルトラパッチ同等品))
 $a1 = 0.440 \times 0.200 \times 3 = 0.264 \text{ m}^2$
 $a2 = 0.440 \times 0.400 \times 1 = 0.176 \text{ m}^2$
 $a3 = 0.440 \times 0.150 \times 3 = 0.198 \text{ m}^2$

FRPシート設置面積合計 $\Sigma A = 0.64 \text{ m}^2$

10. 足場工

10.1. 足場工数量総括表

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
吊り足場	タイプA3	m ²	298.6	
朝顔防護足場	タイプE 板張、シート張	m ²	87.1	
床面シート張り防護		m ²	298.6	
ブラスト用養生シート		m ²	298.6	
橋梁点検車		式	1	

10.2. 数量計算

12.2.1. 吊り足場(タイプA3)

$$\begin{aligned}
 A1 \sim P1 \quad A1 &= 5.850 \times 25.536 &= 149.4 \text{ m}^2 \\
 P1 \sim A2 \quad A2 &= 5.850 \times 25.496 &= 149.2 \text{ m}^2 \\
 \text{吊り足場合計 } \Sigma A &= &= 298.6 \text{ m}^2
 \end{aligned}$$

10.2.2. 朝顔防護足場(タイプE)(板張、シート張)

$$A1 \sim A2 \quad A = 0.800 \times 54.410 \times 2 = 87.1 \text{ m}^2$$

10.2.3. 床面シート張り防護

$$A = \text{吊り足場面積と同様} = 298.6 \text{ m}^2$$

10.2.4. ブラスト用養生シート

$$A = \text{吊り足場面積と同様} = 298.6 \text{ m}^2$$

10.2.5. 橋梁点検車

$$N = 1 = 1 \text{ 式}$$

特記仕様書 (●:適用する ○:適用しない)

項 目	事 項
工 程 関 係	<ul style="list-style-type: none"> ●1 本工事の工期は、週休2日制及び雨天、その他年末年始休暇等を見込んでいる。 ●2 河川工事に関する工事であるため、出水期を考慮している。 ○3 本工事区間は、現在橋梁補修工事(伸縮装置、舗装打換)が9月30日頃まで施工中なので、工程等に注意すること。 ●4 河川管理者(宇都宮土木事務所)と協議の結果、仮設等の条件が変更されることがあるので、工程等に注意すること。 ●5 その他 本工事は線越を想定しており、議会議決承認後標準工期である371日間を契約工期とし、契約変更とする。
用 地 関 係	<ul style="list-style-type: none"> ○1 工事用地等に未処理部分があるので、監督員と協議のうえ、立入り等を行うこと。 なお、平成____年____月____日頃、解決の見込である。 ○2 その他 内容:
公 害 対 策 関 係	<ul style="list-style-type: none"> ●1 工事に伴う公害防止(騒音、振動、粉塵等)のため、次のとおり行うこと。 <ul style="list-style-type: none"> A. 施工方法:循環式プラスチック工法(1種ケレン) B. 機械施設: C. 作業時間: ●2 本工事の着手と完成時に、付近の家屋及び工作物等の外観調査を行い、工事による影響を把握すること。なお、調査方法、範囲等については、監督員と協議すること。 ●3 その他 内容:塗膜に有害物質が含まれるため、河川等への飛散防止を徹底すること
安 全 対 策 関 係	<ul style="list-style-type: none"> ●1 全作業員に対して、工事期間中定期的に安全教育、研修訓練を、月1回・半日以上必ず行い、施工計画書等に明記すること。特に、作業員が変わったとき及び、作業内容に変更があったときは必ず行うこと。 ●2 一般交通の支障となる箇所には、交通安全管理に十分注意し、道路工事保安施設設置基準により保安施設等を設置し施工すること。 ●3 交通整理員については、警備業者の作業員とし交通整理及び、作業車の誘導等の作業を行うものとする。また、配置場所については、最も適切な位置を選定すること。 交通整理人は、延べ 102 名配置を設計で見込んでいるが、警察等の協議により変更が生じた場合は別途協議による。 なお、工事完了後、安全管理についての「交通整理日報(様式-1)」を提出すること。 ●4 車道の通行規制について、原則として次のとおり行うこと。なお、必要に応じて監督員と別途協議するものとする。 <ul style="list-style-type: none"> ●4.1 片側交互通行の規制による。 ○4.2 通行止の規制による。 ●5 その他 内容:塗膜除去の際、有害物質を含むため、安全施設等を徹底すること。
過 積 載 防 止 対 策 関 係	<ul style="list-style-type: none"> ●1 請負者は、工事の施工にあたって、次の事項を遵守するものとする。 <ul style="list-style-type: none"> (1) 積載重量制限を超えて工事用資材・土砂等を積み込まず、また積み込ませないこと。 (2) 差枠装着車、不表示車等に工事用資材・土砂等を積み込まず、また積み込ませないこと。 (3) 過積載車両、差枠装着車、不表示車等から工事用資材・土砂等の引渡しを受ける等過積載を助長することのないようにすること。 (4) 取引関係のあるダンプトラック等事業者が過積載を行っている場合又は、差枠装着車、不表示車等を工事用資材・土砂等運搬に使用している場合は、早急に不正状態を解消する措置を講ずること。 (5) 建設発生土の処理及び、骨材等資材の購入にあたっては、下請け業者及び、骨材等資材納入業者の利益を不当に害することのないようにすること。 (6) 以上のことにつき、下請け業者、資材運搬業者等にも十分に指導すること。 ○2 その他 内容:
工 事 用 道 路 関 係	<ul style="list-style-type: none"> ○1 搬入路の取扱は、次のとおり行うものとする。 内容: ○2 仮設道路を次のとおり設置する。 内容: ●3 周辺道路への損傷を把握するため、着工前と完成後に現状調査を実施すること。 ○4 その他 内容:
仮 設 備 関 係	<ul style="list-style-type: none"> ●1 仮設備の構造及び、その施工法を次のとおり指定する。 内容:塗装足場工(1種ケレン(循環式プラスチック工法)・PCB等有害物質飛散防止施設) ●2 仮設備(現場事務所、資材置き場、工事用通路等)の設置のために、農地又は採草放牧地(以下「農地等」という。)を借地する場合は次のとおりとする。 <ul style="list-style-type: none"> (1) 農地等が租税特別処置法による納税猶予等の対象となっているときは仮設予定地としてはならない。 (2) 請負者は、登記簿等により農地等に関する資料を収集し、監督員と協議するものとする。資料収集に要する費用は、本工事の請負代金から請負者が負担するものとする。 (3) 農地等の借地権は町が取得することとするが、その契約に要する費用及び賃貸料は、本工事の請負代金から請負者が負担するものとする。 (4) 農地等は必ず現状に回復し、農地等所有者に返還するものとする。
排 水 工 (濁 水 処 理 を 含 む) 関 係	<ul style="list-style-type: none"> ○1 河川土工等で、河川を汚濁させる場合は事前に協議のうえ、その対策の措置を講ずること。 ○2 濁水、湧水等の処理で次の対策を行うこと。 内容: ○3 その他 内容:
工 事 支 障 物 件 等	<ul style="list-style-type: none"> ○1 電柱・地下埋設等の占用物件の工事支障物については、次のとおり行う予定である。 <ul style="list-style-type: none"> A、支障物件: B、移設・撤去方法: C、移設・撤去時期: ●2 工事区間には、占用物件[上水道・下水道・電話・電気・ガス等]がある(又は工事中)ので、占用物件管理者と施工方法、工程管理等の打合せを行い、工事に支障のないように調整すること。 ○3 その他 内容:

項目	事項																											
建設副産物関係	<p>●1 建設発生土管理基準関係</p> <p>① 工事を実施するにあたっては、再生資源利用〔促進〕計画書を施工計画書に添付するものとし、法令等に基づき、工事現場の公衆の見やすい場所に掲げること。計画書の実施状況については、再生資源利用〔促進〕実施書を作成して、工事完成後速やかに実施書を発注者に提出し、COBRISに情報の登録をすませ監督員に確認させること。また、これらの記録を工事完成後1年間保存しておくこと。なお、監督員の承諾を得て、施工計画書を省略する場合でも、再生資源利用〔促進〕実施書は提出するものとする。</p> <p>また、再生資源利用〔促進〕計画書(実施書)の作成にあたり、再生資源利用〔促進〕計画書(実施書)入カシステムを利用するものとする。</p> <p>② 建設副産物処理に先立ち、別紙建設副産物処理承認申請書により監督員の確認を受け、同申請書を2部提出すること。</p> <p>③ 建設廃棄物の処分にあたって、排出事業者(元請業者)は処理業者と建設廃棄物処理委託契約書を締結し、建設副産物処理委託契約書を監督員に提示するとともに、同契約書の写しを提出すること。なお、収集運搬業務を収集運搬業者に委託する場合は、別に収集運搬業者と建設廃棄物処理委託契約書を締結すること。</p> <p>④ 建設副産物処理完了後速やかに別紙建設副産物処理調査書を作成し、監督員に2部提出するとともに、実際に要した処理等を証明する資料(位置図、写真等)を提示し確認を受け、竣工図書に添付すること。</p> <p>⑤ 建設廃棄物については、産業廃棄物処理における「産業廃棄物管理票(マニフェスト)」の交付・回収した各票を監督員に提示し確認を受け、E票の写しを竣工図書に添付すること。</p> <p>なお、回収したマニフェストについては廃棄物の処理及び清掃に関する法律を踏まえ適切に保存すること。</p> <p>●2 建設副産物の処理基準関係</p> <p>○土砂捨土処理について</p> <p>①土砂処理条件(小割・仮置き等)</p> <p>イ)捨土の種類 岩魂は、径30cm未満に破砕するものとする。最大寸法30cm未満の塊を含む土砂を処理することは可。 ロ)日曜・祭日・夜間の捨土は原則として不可。 ハ)夜間発生土の土砂は、仮置きして運搬捨土するものとする。</p> <p>②土砂処理場所</p> <p>○指定(A) 残土の処分場所は、_____とする。 ○指定(B) 残土の処分場所は、8.0kmの範囲内に処理すると想定するが、発注後、請負者の裁量により処分地を確保するものとし、運搬距離については別途協議する。</p> <p>●建設リサイクル法対象工事について</p> <p>1. 本工事から発生する特定建設資材廃棄物は、建設リサイクル法に基づき、分別解体及び再資源化等の実施について適正に処理するものとする。</p> <p>①分別解体の方法</p>																											
	<table border="1" data-bbox="331 992 1524 1193"> <thead> <tr> <th data-bbox="336 992 406 1193">工程及び解体方法</th> <th data-bbox="406 992 730 1019">工程</th> <th data-bbox="730 992 1098 1019">作業内容</th> <th data-bbox="1098 992 1519 1019">分別解体の方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="336 1019 406 1046">①仮設</td> <td data-bbox="406 1019 730 1046"></td> <td data-bbox="730 1019 1098 1046">仮設工事 <input checked="" type="checkbox"/>有 <input type="checkbox"/>無</td> <td data-bbox="1098 1019 1519 1046"><input type="checkbox"/>手作業 <input checked="" type="checkbox"/>手作業・機械作業の併用</td> </tr> <tr> <td data-bbox="336 1046 406 1072">②土工</td> <td data-bbox="406 1046 730 1072"></td> <td data-bbox="730 1046 1098 1072">土工事 <input type="checkbox"/>有 <input checked="" type="checkbox"/>無</td> <td data-bbox="1098 1046 1519 1072"><input type="checkbox"/>手作業 <input type="checkbox"/>手作業・機械作業の併用</td> </tr> <tr> <td data-bbox="336 1072 406 1099">③基礎</td> <td data-bbox="406 1072 730 1099"></td> <td data-bbox="730 1072 1098 1099">基礎工事 <input type="checkbox"/>有 <input checked="" type="checkbox"/>無</td> <td data-bbox="1098 1072 1519 1099"><input type="checkbox"/>手作業 <input type="checkbox"/>手作業・機械作業の併用</td> </tr> <tr> <td data-bbox="336 1099 406 1126">④本体構造</td> <td data-bbox="406 1099 730 1126"></td> <td data-bbox="730 1099 1098 1126">本体構造の工事 <input type="checkbox"/>有 <input checked="" type="checkbox"/>無</td> <td data-bbox="1098 1099 1519 1126"><input type="checkbox"/>手作業 <input type="checkbox"/>手作業・機械作業の併用</td> </tr> <tr> <td data-bbox="336 1126 406 1153">⑤本体付属品</td> <td data-bbox="406 1126 730 1153"></td> <td data-bbox="730 1126 1098 1153">本体付属品の工事 <input type="checkbox"/>有 <input checked="" type="checkbox"/>無</td> <td data-bbox="1098 1126 1519 1153"><input type="checkbox"/>手作業 <input type="checkbox"/>手作業・機械作業の併用</td> </tr> <tr> <td data-bbox="336 1153 406 1193">⑥その他</td> <td data-bbox="406 1153 730 1193"></td> <td data-bbox="730 1153 1098 1193">その他の工事 <input checked="" type="checkbox"/>有 <input type="checkbox"/>無</td> <td data-bbox="1098 1153 1519 1193"><input type="checkbox"/>手作業 <input checked="" type="checkbox"/>手作業・機械作業の併用</td> </tr> </tbody> </table> <p>②処理について</p> <p>本工事から発生するアスファスト廃材及びコンクリート廃材は、建設リサイクル法、栃木県土木工事必携建設副産物適正処理推進要綱により、適正に処理するものとする。</p> <p>③処理条件</p> <p>アスファルト塊、コンクリート塊の建設廃棄物は、径30cm未満に小割りし、下記再生資源化施設(破砕工場)に、持込み処分するものとする。</p> <p>再生資源化施設名(コンクリート塊) : (株)鈴建工業 L=8.6km 再生資源化施設名(アスファルト・コンクリート塊) : _____ 再生資源化施設名(木材) : _____</p> <p>④請負者は分別解体等・再資源化が完了したときには、建設リサイクル法第18条に基づき、別途様式1により監督員に報告することとする。</p> <p>⑤本工事におけるカッター切断作業により発生する濁水については、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律(昭和45年法律第137号)」に基づき適正に処理しなければならない。また、下記の処理施設は積算上の条件を明示するものであり、処理施設を指定するものではない。なお、舗装版切断時に発生する濁水の処理量は、設計変更の対象とする。</p> <p>積算上の処理施設 : _____</p> <p>⑤工事発注後に明らかになった事情により、予定した条件によりがたい場合は、監督員と協議するものとする。</p> <p>⑥その他 内容:</p> <p>○再生材の利用基準関係(再生クラッシャーラン、再生加熱アスファルト混合物)</p> <p>①請負者は、再生材の使用にあたっては、「再生材の利用基準」(県土木部制定)に準拠することとし、監督員が別途提示する再生資源化施設に、「再生材の供給確認書(様式2)」で、供給の可否を確認し、監督員に提出すること。なお、再生材が供給不能な場合は、別途協議すること。</p> <p>また、現場搬入開始時に目視による品質確認状況を写真に記録するとともに、「再生クラッシャーラン(RC材)品質確認状況報告書」を作成のうえ、速やかに監督員に提出すること。なお、報告書については、当該工事における再生クラッシャーランの搬入開始時に1枚作成し、その他供給元が変更する毎の初回搬入時に1枚作成する。</p> <p>②請負者は、再生材(再生加熱アスファルト混合物を除く)を使用する場合、3ヶ月以内の材料試験成績表を提出し承認を受けるものとする。なお、使用時期と承認時期がずれる場合は、使用3ヶ月以内の材料試験成績表を、再度提出し承認を受けること。</p> <p>③請負者は、再生材(再生加熱アスファルト混合物を除く)が500m³以上又は監督員が指示する場合、請負者の責任において試料を採取し、公的試験機関(財)栃木県建設技術センター等)での材料試験成績を提出するものとする。</p> <p>○4 建設発生土の搬出先への情報提供要領関係</p> <p>本工事から発生する建設発生土を100m³以上、当該工事現場の市町村から他の市町村へ搬出する場合には、「建設発生土の搬出先への情報提供要領」に基づき、実施するものとする。</p>	工程及び解体方法	工程	作業内容	分別解体の方法	①仮設		仮設工事 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input checked="" type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用	②土工		土工事 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用	③基礎		基礎工事 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用	④本体構造		本体構造の工事 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用	⑤本体付属品		本体付属品の工事 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用	⑥その他		その他の工事 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
工程及び解体方法	工程	作業内容	分別解体の方法																									
①仮設		仮設工事 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input checked="" type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用																									
②土工		土工事 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用																									
③基礎		基礎工事 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用																									
④本体構造		本体構造の工事 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用																									
⑤本体付属品		本体付属品の工事 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用																									
⑥その他		その他の工事 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input checked="" type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用																									

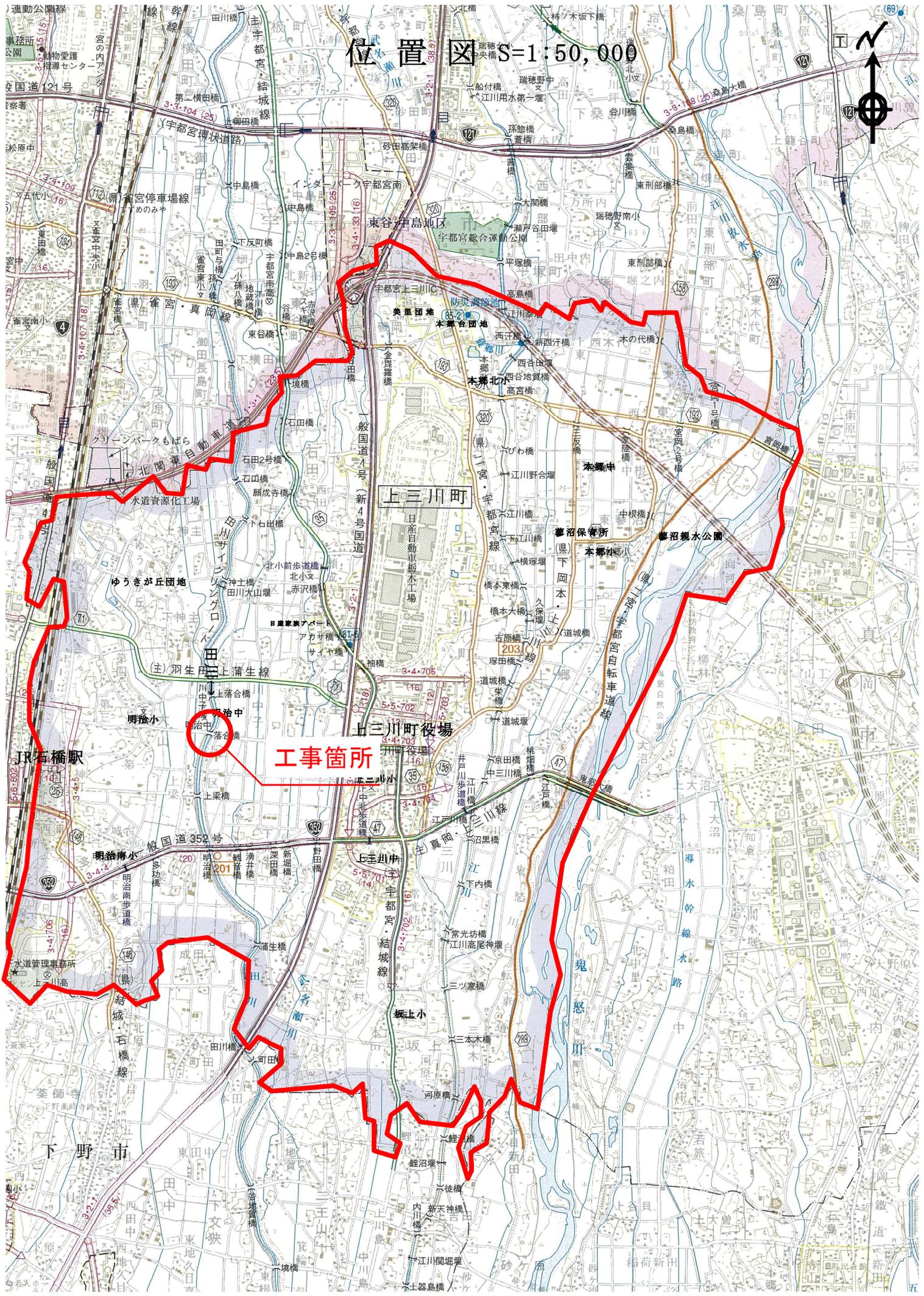
項目	事項
建設副産物関係	<p>○ 建設発生土情報交換システム関係 本工事については、建設発生土の工事間利用を促進するため JACIC 工事データとして登録してあります。設計図書(共通仕様書 1-1-3-2)、または設計図書の変更により、工事データに変更が生じる場合は、登録内容を変更するものとする。 (原則として、搬入(不足)土量 500m³以上、搬出(発生)土量1,000m³以上の工事)</p> <p>○6 その他 内容:</p>
主任技術者	<p>● 1 主任技術者の選定 栃木県建設工事請負契約約款第11条第1項に規定する主任技術者は、原則として下記の基準の者を定め、選任通知書に合格証明書等有資格技術者であることを証するもの(写しでも可)を添付すること。</p> <p>①請負対象額7,000万円以上の工事は、次のイまたはロに掲げる者とする。 イ)建設業法(昭和24年法律第100号)による技術検定(以下「技術検定」という)のうち、検定項目を一級建設機械施工管理または一級土木施工管理とするものに合格した者、並びに建設大臣が前述の者と同等以上の能力を有するものと認定した者。 ロ)技術士法(昭和32年法律第124号)による本試験のうち、技術部門を建設部門、農業部門(選択科目を「農業土木」とするものに限る)または林業部門(選択科目を「森林土木」とするものに限る)とするものに合格した者。</p> <p>②請負対象額3,000万円以上7,000万円未満の工事は、次のイまたはロに掲げる者とする。 イ)上記イに掲げる者または技術検定のうち、検定科目を二級建設機械施工管理または二級土木施工管理とするものに合格した者。 ロ)上記ロに掲げる者。</p>
工事カルテ	<p>● 工事カルテの作成、登録 請負者は、受注時又は変更時に工事請負額が500万円以上の工事について、工事情報実績情報サービス(CORINS)に基づき「工事カルテ」を作成し、監督員の確認を受けたうえ、受注時は契約後10日以内に、登録内容の変更時は変更があった日から10日以内に、完成時は工事完成後10日以内に、訂正時は適宜登録期間に登録申請しなければならない。(ただし、工事請負額500万円以上2,500万円未満の工事については、受注・訂正時のみ登録するものとする。)なお、変更時と完成時の間が10日間に満たない場合は、変更時の提出を省略できる。 また、(財)日本建設情報総合センター発行の「工事カルテ受領書」の写しを監督員に提出しなければならない。</p>
アルカリ骨材反応抑制対策	<p>● アルカリ骨材反応抑制対策について 土木構造物に使用されるコンクリートおよびコンクリート工場製品において適用する。ただし仮設構造物のように長期の耐久性を期待しなくてもよいものは除く。また特殊な材料を用いたコンクリートや特殊な配合のコンクリートについては別途検討を行うこと。</p> <p>1. 現場における対処の方法 請負者は、土木構造物に使用するコンクリートについて、アルカリ骨材反応を抑制するため、次の3つの場合による対処の方法を取らなければならない。</p> <p>a. 現場でコンクリートを製造して使用する場合…現地における骨材事情、セメントの選択の余地等を考慮し、2.1～2.3のうちどの対策を用いているか決めてからコンクリートを製造する。</p> <p>b. レディーミクストコンクリートを購入して使用する場合…レディーミクストコンクリート生産者と協議して2.1～2.3のうちどの対策によるものを納入するかを決めそれを指定する。なお、2.1、2.2を優先する。</p> <p>c. コンクリート工場製品を使用する場合…プレキャスト製品を使用する場合、製造業者に2.1～2.3のうちどの対策によっているものかを報告させ適しているものを使用する。</p> <p>2. 抑制対策の実施方法</p> <p>2.1 コンクリート中のアルカリ総量の抑制 試験成績表に示されたセメントの全アルカリ量の最大値のうち直近6ヶ月の最大の値(Na₂O換算値%) / 100 × 単位セメント量(配合表に示された値kg/m³) + 0.53 × (骨材中のNaCl%) / 100 × (当該単位骨材量kg/m³) + 混和剤中のアルカリ量kg/m³が3.0kg/m³以下であることを計算で確かめるものとする。防錆剤等使用量の多い混和剤を用いる場合には、上式を用いて計算すればよい。なお、AE剤、AE減水剤等のように、使用量の少ない混和剤を用いる場合には、簡易的にセメントのアルカリ量だけを考慮し、セメントのアルカリ量 × 単位セメント量が2.5kg/m³以下であることを確かめればよいものとする。</p> <p>2.2 抑制効果のある混合セメント等の使用 高炉セメントB種(スラグ混合比40%以上)またはC種、もしくはフライアッシュセメントB種(フライアッシュ混合比15%以上)またはC種であることを試験成績表で確認する。また、混和材をポルトランドセメントに混入して対策をする場合には、試験等によって抑制効果を確認する。</p> <p>2.3 安全と認められる骨材の使用 JIS A 1145骨材のアルカリ反応性試験方法(化学法)またはJIS A 5308(レディーミクストコンクリート)の付属書7「骨材のアルカリシリカ反応性試験(化学法)」による骨材試験は、工事開始前、工事中1回/6ヶ月かつ産地がかわった場合に信頼できる試験期間^(注)で行い、試験に用いる骨材の採取には請負者が立ち会うことを原則とする。また、JIS A 1146骨材のアルカリシリカ反応性試験方法(モルタルバー法)または、JIS A 5308(レディーミクストコンクリート)の付属書8「骨材のアルカリシリカ反応性試験(モルタルバー法)」による骨材試験の結果を用いる場合には、試験成績表により確認するとともに、信頼できる試験期間^(注)においてJIS A 1804「コンクリート生産工程管理用試験方法—骨材のアルカリシリカ反応性試験方法(迅速法)」で骨材が無害であることを確認するものとする。この場合、試験に用いる骨材の採取には請負者が立ち会うことを原則とする。なお、2次製品で既に製造されたものについては、請負者が立ち会い、製品に使用された骨材を採取し、試験を行って確認するものとする。フェロニッケルスラグ骨材、銅スラグ骨材等の人工骨材及び石灰石については、試験成績表による確認を行えばよい。</p> <p>(注)公的機関またはこれに準じる機関(大学、都道府県の試験機関、公益法人である民間試験機関、その他信頼に値する民間試験機関、人工骨材については製造工場の試験成績表でよい)</p> <p>3. 外部からのアルカリの影響について 2.1および2.2の対策を用いる場合には、コンクリートのアルカリ量をそれ以上に増やさないと望ましい。そこで、下記のすべてに該当する構造物に限定して、塩害防止も兼ねて塗装等の塩分浸透を防ぐための措置を行うことが望ましい。</p> <p>1) 既に塩害による被害を受けている地域で、アルカリ骨材反応を生じるおそれのある骨材を用いる場合 2) 2.1、2.2の対策を用いたとしても、外部からのアルカリの影響を受け、被害を生じると考えられる場合 3) 橋桁等、被害を受けると重大な影響をうける場合</p>

項 目	事 項								
現場代理人の兼任について	<ul style="list-style-type: none"> ●1 現場代理人の専任を要する工事である。 ○2 現場代理人を兼任しても現場の運営、取締り等に支障がない工事である。(上三川町発注工事を1箇所まで) <ul style="list-style-type: none"> ○2.1 当初請負額3千万円未満の工事との兼任を認める ○2.2 当初請負額3千万円未満かつ工種が舗装である工事との兼任を認める ○2.3 当初請負額1千万円未満の工事との兼任を認める 								
週休2日制工事	<ul style="list-style-type: none"> ○1 本工事は「上三川町週休2日制工事実施要領」に定める週休2日工事に取り組むことを発注者が指定する工事である。(発注者指定型) ●2 本工事は「上三川町週休2日制工事実施要領」に定める受注者の希望により週休2日工事に取り組むことができる工事である。(受注者希望型) 								
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> ●1 工事現場発生品があるので、その取扱は次のとおり行うものとする。 <table style="margin-left: 40px; border: none;"> <tr> <td style="padding-right: 20px;">品 名 : 防護柵撤去廃材</td> <td>数 量 : 0.28t</td> </tr> <tr> <td>現場内使用の有無 : 無</td> <td>搬 出 場 所 : ㈱ウスイ産業</td> </tr> <tr> <td>品 名 :</td> <td>数 量 :</td> </tr> <tr> <td>現場内使用の有無 : 無</td> <td>搬 出 場 所 :</td> </tr> </table> ●2 請負者は、工事の施工にあたって、次の事項を遵守するものとする。 <ul style="list-style-type: none"> (1) 電波法の遵守・不法無線局搭載車両の使用禁止とし、不法無線局を搭載、又は使用している場合は、早急に不正状態を解消する措置を講ずること。 (2) 以上のことにつき、下請け業者、資材運搬業者等にも十分に指導すること。 ○3 内容: 	品 名 : 防護柵撤去廃材	数 量 : 0.28t	現場内使用の有無 : 無	搬 出 場 所 : ㈱ウスイ産業	品 名 :	数 量 :	現場内使用の有無 : 無	搬 出 場 所 :
品 名 : 防護柵撤去廃材	数 量 : 0.28t								
現場内使用の有無 : 無	搬 出 場 所 : ㈱ウスイ産業								
品 名 :	数 量 :								
現場内使用の有無 : 無	搬 出 場 所 :								
暴力団員等による不当介入を受けた場合について	<ul style="list-style-type: none"> ● 1 上三川町が発注する建設工事(以下「発注工事」という。)において、暴力団員等による不当要求又は工事妨害(以下「不当介入」という。)を受けた場合は、断固としてこれを拒否するとともに、不当介入があった時点で速やかに警察に通報を行い、捜査上必要な協力を行うこと。 ● 2 上記●1により警察に通報を行い、捜査上必要な協力を行った場合には、速やかにその内容を記載した書面により発注者に報告すること。 ● 3 発注工事において、暴力団員等により不当介入を受けたことにより工程に遅れが生じるなどの被害が生じた場合には、発注者と協議を行うこと。 								

電子納品に関する特記仕様書 (●:適用する ○:適用しない)

項 目	事 項
電子納品の対象書類	<ul style="list-style-type: none"> ●1 工事管理情報 (XML形式) ○2 発注図 (SFC形式) ○3 特記仕様書 (PDF形式) ○4 打合簿 (PDF形式) ○5 施工管理資料 (PDF形式) ○6 施工計画書 (PDF形式) ○7 完成図 (SFC形式) ●8 工事写真 (JPEG形式) ○9 その他 () (PDF形式) ●10 対象書類以外に電子納品を行う場合は、監督員との協議により実施すること。
電子納品に関し適用する要領・基準等	<ul style="list-style-type: none"> ●1 上三川町建設工事電子納品実施要領(案)(平成21年4月) ●2 栃木県 CALS/EC 電子納品運用に関するガイドライン第11版(令和6年4月) ●3 工事完成図書の電子納品要領 (令和5年3月) 国土交通省 ●4 デジタル写真管理情報基準 (令和5年3月) 国土交通省 ○5 CAD 製図基準 (平成29年3月) 国土交通省
電子納品のフォルダ作成	<ul style="list-style-type: none"> ●1 工事写真のみを電子納品する場合は、フォルダの作成は必要としない。 ○2 工事写真以外の書類を電子納品する場合は、電子納品実施要領(案)に基づき全てのフォルダを作成すること。
事前協議	<ul style="list-style-type: none"> ●1 工事着手時には「電子納品事前協議チェックシート(土木工事)」(様式-1)により、電子納品対象書類、ファイル形式、作成ソフト等の協議を行うこと。
成果品の提出	<ul style="list-style-type: none"> ●1 成果品の提出に使用する電子媒体はCD-Rとする。 ●2 成果品は基本的には、1枚のCD-Rに格納する。 ●3 成果品は、正副各1枚ずつ計2枚を提出する。 (正副各1枚の場合のラベル表示は「正1/1」「副1/1」とする) ●4 CD-Rのラベル及びケースには、「電子納品実施要領(案)」に基づき、必要な情報を記載すること。 ●5 CD-Rのラベルは、CD-R表面へのプリンタ直接印字または油性マジック等での書込みとする。(ボールペン・鉛筆など硬質な筆記具の使用不可) ※ラベルシール等の貼付けはしないこと。(全面貼付けも不可)
インデックスプリント(簡易写真帳)の提出	<ul style="list-style-type: none"> ●1 工事写真の電子納品にあわせてインデックスプリントを作成し、検査時に提出する。インデックスプリントとはA4サイズの紙に代表写真のみを抜粋してカラー印刷したもので、縦5行・横3列の15枚ずつを原則とする。各写真の下に「工種」「写真タイトル」「撮影箇所」を3行で記入すること。(極力枚数を少なくし、簡易な製本とする。) ●2 代表写真は、工事全体の流れがわかる写真とし、「栃木県土木工事共通仕様書」の「栃木県土木工事写真管理基準(案)」における提出頻度程度(提出枚数は、電子納品した写真データの1割程度を目安)とする。
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> ●1 提出する CD-R 内には閲覧ソフト(ビューソフト)を入れないこと。 ●2 疑義が生じた場合は速やかに監督員と協議し指示を受けること。

位置図 S=1:50,000



工事箇所

上三川町

上三川町役場

JR石橋駅

明治中

明治南小

下野市

成田

明治南歩道橋

明治中

ゆきが丘団地

北関東自動車道

宇都宮市

宇都宮市

運動公園線

公表単価一覧表

工事及び業務名 橋梁補修工事(中落合橋 上三川町大字川中子地内

名称	規格	単位	単価:円	適用区分			備考
				機	労	材	
循環式プラスト工法 車載式		m2	12,967	○	○	○	V1000
場内収集・選別・運搬		m2	3,385	○	○	○	V1001
車載式トラック		式	170,258	○			V0110
UN規格ドラム缶	特別産業廃棄物保管用	缶	23,500			○	F0300
脱脂洗浄工(施工費)	鍍転換型防食塗装	m2	955	○	○		V0010
下塗り工(施工費)	鍍転換型防食塗装	m2	1,351	○	○		V0011
下塗り工(施工費)	エポキシ樹脂系セラミックコーティング	m2	134,368	○	○		V0020
希釈剤	下塗り用	缶	14,000			○	F0069
負圧集塵機賃料(基本管理費込)	最大処理風量 160m3/min	月/台	250,000	○			F0310
鉛対応集塵機用カートリッジフィルタ、パッキン	1台16本使用	本	18,900	○			F0311
エアシャワー賃料	1台使用	月/台	150,000	○			F0312
エアシャワー用1次フィルター	1枚当り0.5ヶ月	枚	5,750			○	F0313
エアシャワー用HEPAフィルター	1枚当り1000m2毎に交換	枚	80,000			○	F0314
PCB・鉛粉塵対策用真空掃除機賃料	1台使用	月/台	80,500	○			F0315
真空掃除機用1次フィルター	1枚当り0.5ヶ月	枚	3,450			○	F0316
真空掃除機用2次フィルター	1枚当り1000m2毎に交換	枚	5,180			○	F0317
真空掃除機用HEPAフィルター	1台1個使用	個	84,000			○	F0318
エコクリーンスーツ(上)	3日1着使用/人	着	8,400			○	F0330
エコクリーンスーツ(下)	3日1着使用/人	着	7,900			○	F0331
送気ユニット	接続器共	組	15,000			○	F0332
定置式ろ過筒(4人用)	ろ過フィルター含む	台	50,000			○	F0333
エアラインホース	φ9 L=20m 12人分	本	6,900			○	F0334
エアラインホース	φ19 L=25m 定置式ろ過筒3組分	本	43,700			○	F0335
防じんマスク	12人分	個	4,950			○	F0336
防じんマスク用フィルター	交換用含む 4日2個使用/人	個	950			○	F0337
防護手袋	1日2組使用/人	組	550			○	F0338
防護長靴	12人分	足	18,400			○	F0339

(備考)

1 本表に掲載されている単価は、見積りおよび特別調査により決定したものである。

2 適用区分に○印があるものは、下記の価格を示す。

「機」機械器具等の損料または賃料

「労」労務費

「材」材料費

公表単価一覧表

工事及び業務名 橋梁補修工事(中落合橋 上三川町大字川中子地内

名称	規格	単位	単価:円	適用区分			備考
				機	労	材	
沓座モルタル打替工(施工費)		基	84,825	○	○		V0060
無収縮モルタル		袋	5,800			○	F0081
差筋アンカー		本	200			○	F0083
排水管設置工(施工費)	加工管 SUS製 φ152 支持金具取付含む	箇所	16,671	○	○		V0040
排水管	加工管 SUS製 φ152 支持金具取付含む	組	115,000			○	F0023
支持金具	SS400(溶融亜鉛メッキ)	組	16,400			○	F0025
防護柵部分補修工(施工費)	既設防護柵切断撤去・現場溶接設置	箇所	25,146	○	○		V0070
材料費	□75*45*t32*L1800 加工費、ロス分含む	本	11,600			○	F0090
FRPシート貼付工(施工費)	紫外線硬化型	m2	285,062	○	○		V0002
シート(区分A)	440*150*3枚 0.01m2以上0.07m2未満/枚	m2	128,000			○	F0071
シート(区分B)	440*200*3枚 0.07m2以上0.15m2未満/枚	m2	80,000			○	F0072
シート(区分C)	440*400*1枚 0.15m2以上/枚	m2	53,600			○	F0073
一液湿潤型硬化型ウレタン系プライマー	5kg/缶	缶	9,000			○	F0074
不陸調整用ガラス繊維入りパテ	硬化剤含む 20kg/缶	缶	40,500			○	F0075
端部処理材	紫外線硬化型樹脂 250kg/缶	缶	8,000			○	F0076
セキュリティールーム設置撤去		式	250,000	○	○		F0320
足場工費(タイプA3)	吊足場工費	式	2,340,661	○	○	○	F1000
足場工費(タイプE)	片側朝顔(シート+板張防護)	式	628,022	○	○	○	F1010
吊足場養生工	床面部 板張防護・シート養生	m2	7,266	○	○	○	V0200
吊足場養生工	朝顔側面部 板張防護・シート養生	m2	6,635	○	○	○	V0200
プラスト用養生シート		式	323,263	○	○	○	F1020
セキュリティールーム仮設仮囲い		式	365,900	○	○		V0220

(備考)

1 本表に掲載されている単価は、見積りおよび特別調査により決定したものである。

2 適用区分に○印があるものは、下記の価格を示す。

「機」機械器具等の損料または賃料

「労」労務費

「材」材料費